施設カルテ　2024

リストNo	03-054	施設コード	04520		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	浜名協働センター				
所在(町名・番地)	浜名区小松2789				
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課 本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名	嶋津　裕亮		
所管課 施設	浜名区・まちづくり推進課	課長名	山本　佳弘		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市行政センター、支所、協働センター及びふれあいセンター条例				
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図る				
主な利用者	地区住民				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	8:30～21:30(月曜日は17:15まで)				

建物情報 総延床面積	2,087.65	土地情報	土地面積	5,533.79	
建物情報 構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造				
建物情報 地上階数(主要建物)	2		うち所有面積	5,533.79	
建物情報 耐震性能(Is値)(主要建物)	新				
建物情報 耐震工事(主要建物)	－		うち借地面積	0.00	
建物情報 建築年月日(主要建物)	1985/3/15				
建物情報 経過年数(主要建物)	39		代表地目(現況地目)	学校用地	
用途地域	市街化調整区域				

区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	—	—	—
財源 国・県	—	—	—
財源 寄付金	—	—	—
財源 その他	—	—	—
財源 市債	—	—	—
財源 一般財源	—	—	—

特記事項 —

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	3,089	2,754	2,453
収入(千円)	国県支出金	0	0	0
収入(千円)	その他収入	176	191	168
収入(千円)	収入計(A)	3,265	2,945	2,621
支出(千円)	人件費	22,400	22,400	22,400
支出(千円)	物件費(委託料)	3,637	3,688	3,611
支出(千円)	維持補修費(修繕費)	1,570	560	831
支出(千円)	物件費(光熱水費)	2,342	2,270	2,140
支出(千円)	物件費(借地料)	0	0	0
支出(千円)	支出計(B)	29,949	28,918	28,982
行政コスト(B－A)		26,684	25,973	26,361
収支前年比		102.74	98.53	98.89
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		10,013	10,013	10,013
利用状況	利用コマ数/年	5,907	5,472	5,223
利用状況	利用可能コマ数/年	32,366	30,571	30,958
利用状況	施設利用者数/年	51,899	46,875	55,603
利用状況	開館日数/年	359	359	359
利用状況	施設定員数	—	—	—
利用状況	図書貸出冊数/年	—	—	—
利用状況	蔵書数	—	—	—
利用状況	入居戸数	—	—	—
利用状況	全戸数	—	—	—
利用状況	クラス数	—	—	—
利用状況	生徒数	—	—	—

BS情報 有形固定資産(千円)

土地	建物	その他
283,188	74,464	—

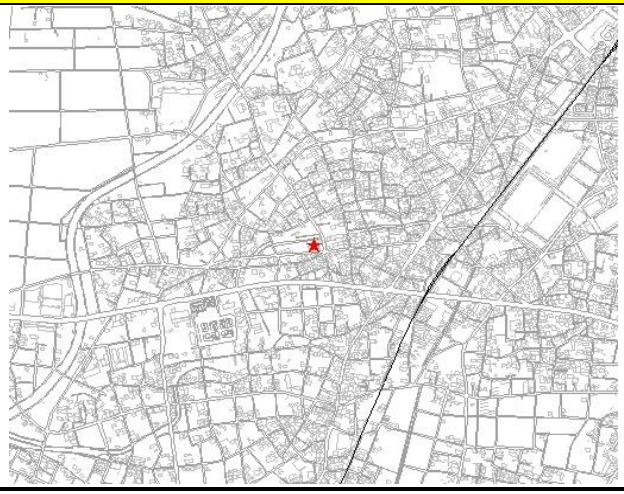
主な改修履歴

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	外壁改修	15,378	2014	空調設備改修工事	26,164
2022	屋根防水工事	10,848	2011	冷暖房機缶体漏洩修繕及び付属機器取替工事	3,460
2020	浜松市浜名協働センター料理教室調理台取替工事	10,145			
2017	ユニバーサル整備工事・屋上防水改修工事	42,833			
2017	屋根防水工事	7,044			
2015	駐車場舗装修繕工事	4,941			

近隣施設

	No	施設名	圏域種別	距離(km)
同分類	03-015	なゆた・浜北(浜名区役所部分以外)	地域	1.2
同分類	03-005	浜北文化センター	市域	1.4
同分類	03-053	北浜南部協働センター	生活	1.8
同分類	03-035	積志協働センター	生活	2.0
同分類				
同分類				
同分類				
同分類				
その他の分類	11-009	浜北障害者生活介護施設光の園	市域	0.3
その他の分類	08-063	小松幼稚園	生活	0.4
その他の分類	14-085	浜名分団小松	コミュニティ	0.5
その他の分類	15-080	浜名小学校	生活	0.7
その他の分類	07-062	浜名第1ビーバークラブ	生活	0.7
その他の分類	10-003	ふれあい交流センター竜西	地域	1.1
その他の分類	08-073	平口幼稚園	生活	1.1
その他の分類	01-021	浜名区役所	地域	1.2

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-054	施設コード	04520	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
施設名	浜名協働センター				施設	浜名区・まちづくり推進課
人員数	正規職員（人）	2	会計年度任用職員（人）	3	再任用（人）	—
複合施設	—					

施設運営分析

関連政策名：市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図る

主な業務内容	各種講座の開催業務、貸館業務、市民サービス（証明発行等）業務
主な利用者	地区住民

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	子供数の増加もピークも過ぎ、講座のニーズも変化していく可能性がある。
特記事項	—

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	「市民スクール」、「ヒューマンセミナー」開催事業（講座数：12講座、回数51回） ※のべ募集人数は、各講座ごとの募集定員の計　※参加者数は、各講座ごとの受講者数の計	2023	377	171	154
		2022	357	204	207
		2021	406	123	119
事業②	こども講座開催事業（講座数：7講座、講座回数17回） ※のべ募集人数は、各講座ごとの募集定員の計　※参加者数は、各講座ごとの受講者数の計	2023	140	153	112
		2022	143	74	57
		2021	151	113	101
事業③	生きがい作り教室事業（講座数：2講座、講座回数：14回） ※延べ募集人数は、募集定員　※参加者数は、受講者数	2023	67	40	38
		2022	60	40	40
		2021	46	25	25
事業④	芸術文化教室（講座数：1講座、講座回数：20回） ※延べ募集人数は、各講座ごとの募集定員の計　※参加者数は、各講座ごとの受講者数の計	2023	154	20	16
		2022	154	20	20
		2021	154	20	20

施設に関する課題等（ハード面から）

施設所管課・本庁所管課　記入欄

課題

当センターは、建築後30年以上経過しており、施設や備品が老朽化している。平成31年度から旧浜名中学校の体育館を引き継ぎ、協働センター付設体育館として管理することとなったが、建築後30年以上経過しており、センター同様、老朽化している。

対応策

施設や設備の定期点検を実施し、不良箇所が生じた場合は、計画的に修繕していきたい。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

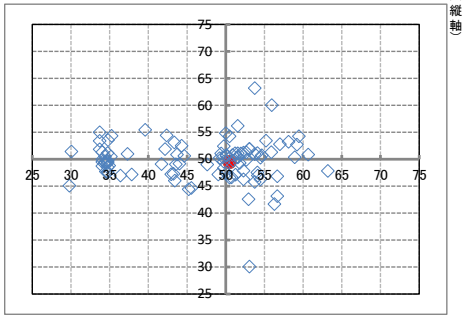
民活導入

市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。

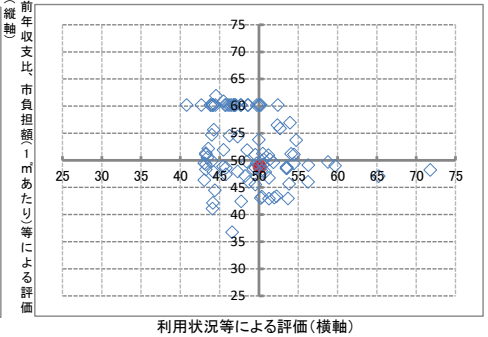
参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	12,782	12,441	12,627	1人当たりのコスト（円）	514	554	474
施設利用率（%）	18.3	17.9	16.9	1開館日当たりのコスト（円）	74,329	72,348	73,429
1日当たり利用者（人）	145	131	155	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	—	—
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考（公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋）

利用者の圏域毎の方向性

地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	（1）維持管理	—	（2）改修・更新時	—	（3）その他	—

住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。

施設カルテ　2024

リストNo	03-055	施設コード	04521		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	中瀬協働センター				
所在(町名・番地)	浜名区中瀬3501-1				
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課 本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名	嶋津　裕亮		
所管課 施設	浜名区・まちづくり推進課	課長名	山本　佳弘		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市行政センター、支所、協働センター及びふれあいセンター条例				
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図る				
主な利用者	地域活動団体、一般団体(同好会)、指定団体、減免団体、一般団体				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	8:30～21:30(月曜日は17:15まで)				

建物情報 総延床面積	1,122.93	土地情報 土地面積	3,317.50		
建物情報 構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造				
建物情報 地上階数(主要建物)	2	うち所有面積	3,317.50		
建物情報 耐震性能(Is値)(主要建物)	新				
建物情報 耐震工事(主要建物)	-	うち借地面積	0.00		
建物情報 建築年月日(主要建物)	1993/3/22				
建物情報 経過年数(主要建物)	31	代表地目(現況地目)	宅地		
用途地域	市街化調整区域				

区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	—	—	—
財源 国・県	—	—	—
財源 寄付金	—	—	—
財源 その他	—	—	—
財源 市債	—	—	—
財源 一般財源	—	—	—

特記事項 —

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	973	883	727
収入(千円)	国県支出金	0	0	0
収入(千円)	その他収入	67	70	74
収入(千円)	収入計(A)	1,040	953	801
支出(千円)	人件費	20,400	28,000	28,000
支出(千円)	物件費(委託料)	3,693	3,690	3,677
支出(千円)	維持補修費(修繕費)	728	297	145
支出(千円)	物件費(光熱水費)	1,475	1,658	1,643
支出(千円)	物件費(借地料)	0	0	0
支出(千円)	支出計(B)	26,296	33,645	33,465
行政コスト(B－A)		25,256	32,692	32,664
収支前年比		77.25	100.09	97.82
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		7,863	8,000	8,000
利用状況	利用コマ数/年	4,359	4,200	3,628
利用状況	利用可能コマ数/年	28,369	27,184	27,201
利用状況	施設利用者数/年	52,908	53,418	37,893
利用状況	開館日数/年	359	359	359
利用状況	施設定員数	—	—	—
利用状況	図書貸出冊数/年	—	—	—
利用状況	蔵書数	—	—	—
利用状況	入居戸数	—	—	—
利用状況	全戸数	—	—	—
利用状況	クラス数	—	—	—
利用状況	生徒数	—	—	—

BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	81,968	112,783	—

主な改修履歴

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2016	外壁及び屋上防水改修工事	14,488			
2016	空調設備改修工事	28,333			
2015	ユニバーサルデザイン化整備工事　工事	30,885			
2011	ユニバーサルデザイン化整備工事	13,998			

近隣施設

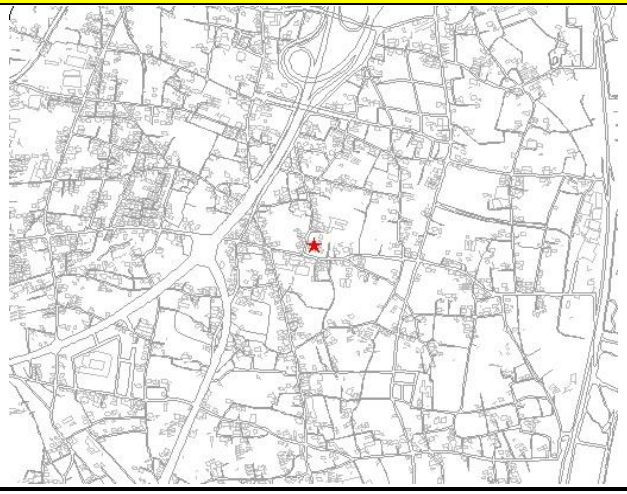
同分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-052	中瀬南部緑地会館	生活	1.3
03-057	浜北地域活動・研修センター	生活	1.4

その他の分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-074	パンサークラブ	生活	0.1
15-078	中瀬小学校	生活	0.1
08-066	中瀬幼稚園	生活	0.1
14-089	浜北北部分団中瀬	コミュニティ	0.5
15-137	浜北北部中学校	生活	1.1
20-011	浜北清掃センター	地域	1.5
14-088	北浜東部分団本沢合	コミュニティ	1.6
14-024	浜北消防署赤佐出張所	地域	1.8

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-055	施設コード	04521	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
施設名	中瀬協働センター				施設	浜名区・まちづくり推進課
人員数	正規職員（人）	2	会計年度任用職員（人）	1	再任用（人）	1
複合施設	—					

参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	22,491	29,113	29,088	1人当たりのコスト（円）	477	612	862
施設利用率（%）	15.4	15.5	13.3	1開館日当たりのコスト（円）	70,351	91,064	90,986
1日当たり利用者（人）	147	149	106	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	—	—
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

施設運営分析

関連政策名：市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図る

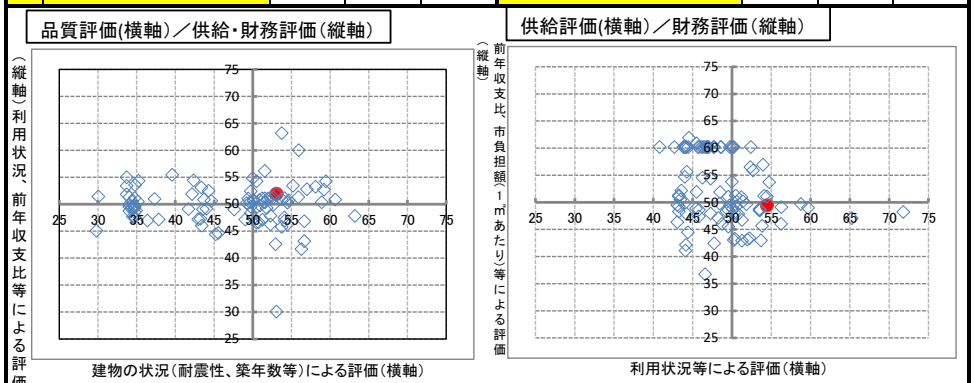
主な業務内容	自主事業（講座の企画・開催）、貸館業務、地域づくり活動の支援、住民票等発行、届出業務
主な利用者	地域活動団体、一般団体(同好会)、指定団体、減免団体、一般団体

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	貸館業務としては一定の利用がある。営利の利用もある。
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	少子高齢化により高齢者の利用が増え、児童の利用が減ると思われる。
特記事項	—

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	市民スクール（講座数：7講座、回数41回）※のべ募集人数は、各講座ごとの募集定員の計　※参加者数は、各講座ごとの受講者数の計	2023	333	98	98
		2022	333	90	90
		2021	329	74	74
事業②	子ども講座（講座数：6講座、回数6回）※のべ募集人数は、各講座ごとの募集定員の計　※参加者数は、各講座ごとの受講者数の計	2023	56	88	83
		2022	42	56	56
		2021	45	60	60
事業③	浜松ヒューマンセミナー（講座数：1講座、回数：10回）　※のべ募集人数は、講座の募集定員　※参加者数は、講座の受講者数	2023	70	15	15
		2022	70	15	15
		2021	70	15	15
事業④	生きがい教室（講座数：1講座、回数8回）※のべ募集人数は、各講座ごとの募集定員の計　※参加者数は、各講座ごとの受講者数の計	2023	53	25	28
		2022	53	20	20
		2021	35	25	24



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

施設に関する課題等（ハード面から）

課題

建築後、25年以上経過しており、施設全体が老朽化しているため、毎年修繕工事が多く発生している。また、利用団体が偏る日・時間帯には駐車場が不足する場合がある。

対応策

平成27年度にユニバーサルデザイン化整備工事として、UD対応多機能型トイレ、エレベータなどを新規に設置し、利便性が向上した。平成28年度後半には、冷暖房設備の改修工事を実施し、一括管理の空調から個別空調へ更新した。また、併せて外壁及び屋上防水改修工事も実施し、施設の延命化を図った。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

民活導入

市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。

参考（公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋）

利用者の圏域毎の方向性

地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	（1）維持管理	—	（2）改修・更新時	—	（3）その他	—

住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。

施設カルテ　　2024

リストNo	03-056	施設コード	04522		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	麁玉協働センター				
所在(町名・番地)	浜名区宮口3171				
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課 本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名	嶋津　裕亮		
所管課 施設	浜名区・まちづくり推進課	課長名	山本　佳弘		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市行政センター、支所、協働センター及びふれあいセンター条例				
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。				
主な利用者	地域住民、地域活動団体等(40団体)、近隣の児童・生徒				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	8:30～21:30(月曜日は17:15まで)				

建物情報 総延床面積	919.71	土地情報	土地面積	3,334.00	
建物情報 構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	2,937.00	
建物情報 地上階数(主要建物)	2				
建物情報 耐震性能(Is値)(主要建物)	新		うち借地面積	397.00	
建物情報 耐震工事(主要建物)	－				
建物情報 建築年月日(主要建物)	1988/3/26		代表地目(現況地目)	宅地	
建物情報 経過年数(主要建物)	36				
用途地域	市街化調整区域				

区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	—	—	—
財源 国・県	—	—	—
財源 寄付金	—	—	—
財源 その他	—	—	—
財源 市債	—	—	—
財源 一般財源	—	—	—

特記事項 —

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	877	815	649
収入(千円)	国県支出金	0	0	0
収入(千円)	その他収入	393	404	40
収入(千円)	収入計(A)	1,270	1,219	689
支出(千円)	人件費	20,400	28,800	28,800
支出(千円)	物件費(委託料)	3,813	3,958	3,653
支出(千円)	維持補修費(修繕費)	213	1,257	151
支出(千円)	物件費(光熱水費)	1,220	1,349	1,275
支出(千円)	物件費(借地料)	410	410	410
支出(千円)	支出計(B)	26,056	35,774	34,289
行政コスト(B－A)		24,786	34,555	33,600
収支前年比		71.73	102.84	112.28
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		5,007	5,007	5,007
利用状況	利用コマ数/年	4,129	4,065	3,362
利用状況	利用可能コマ数/年	29,926	29,763	29,027
利用状況	施設利用者数/年	42,306	42,738	36,894
利用状況	開館日数/年	359	359	359
利用状況	施設定員数	—	—	—
利用状況	図書貸出冊数/年	—	—	—
利用状況	蔵書数	—	—	—
利用状況	入居戸数	—	—	—
利用状況	全戸数	—	—	—
利用状況	クラス数	—	—	—
利用状況	生徒数	—	—	—

BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	74,114	47,344	—

主な改修履歴

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2015	ユニバーサルデザイン化整備工事	27,031			
2014	空調設備改修工事	27,689			
2014	外壁改修工事	8,131			

近隣施設

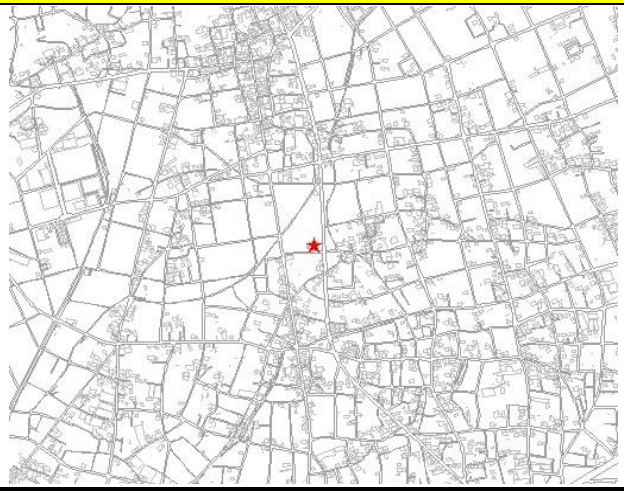
同分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)

その他の分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-091	麁玉分団宮口	コミュニティ	0.3
08-062	宮口幼稚園	生活	0.4
07-060	新原スマイルクラブ	生活	0.8
15-076	新原小学校	生活	0.8
08-064	新原幼稚園	生活	0.9
07-061	麁玉イーグルクラブ	生活	0.9
15-084	麁玉小学校	生活	0.9
13-065	宮口団地	地域	1.2

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-056	施設コード	04522	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
施設名	雁玉協働センター				施設	浜名区・まちづくり推進課
人員数	正規職員（人）	2	会計年度任用職員（人）	1	再任用（人）	1
複合施設	—					

施設運営分析

関連政策名：市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。

主な業務内容	貸館業務、自主事業（講座の企画、開催）、地域づくり活動の支援、住民票等発行・届出業務
主な利用者	地域住民、地域活動団体等（40団体）、近隣の児童・生徒

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり需要は確保されている。
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	地域の高齢化が進み、身近な施設とし重要性が増している。
特記事項	地域づくり、生涯学習施設として必要な施設。

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	市民スクール（地域文化・各種講座）（講座数：8講座、回数：計37回）※のべ募集人数は、各講座ごとの募集定員の計　※参加者数は、各講座ごとの受講者数の計	2023	315	152	142
		2022	308	92	88
		2021	308	103	84
事業②	こども講座（講座数：9講座、回数：計16回）※のべ募集人数は、各講座ごとの募集定員の計　※参加者数は、各講座ごとの受講者数の計	2023	87	127	96
		2022	66	61	44
		2021	121	102	64
事業③	浜松ヒューマンセミナー（講座数：1講座、回数：8回）　※のべ募集人数は、講座の募集定員　※参加者数は、講座の受講者数	2023	70	12	12
		2022	56	16	16
		2021	—	—	—
事業④	地域ふれあい事業　※参加者数は、協働センターまつり参加協力団体参加者数	2023	275	379	246
		2022	225	—	468
		2021	—	—	—

施設に関する課題等（ハード面から）

課題

築35年が経過し、施設・設備等の老朽化が進んでおり、修繕箇所等はその都度対応しているが、今後、全体的な修繕が必要となっている。

対応策

平成26年度の空調改修工事、平成27年度のユニバーサルデザイン化整備工事により個別空調やエレベーター等の施設整備が進んでいるが、施設の老朽化に伴い修繕箇所が増えている。このため、今後も施設長寿命化事業による改修や定期点検の結果を踏まえた計画的な修繕を実施していきたい。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

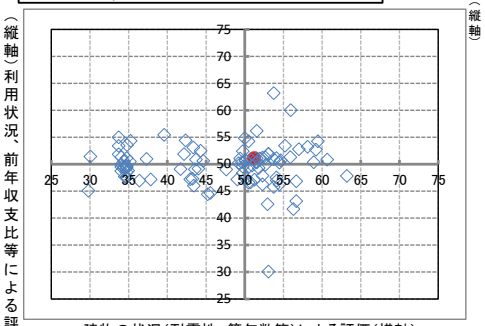
民活導入

市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。

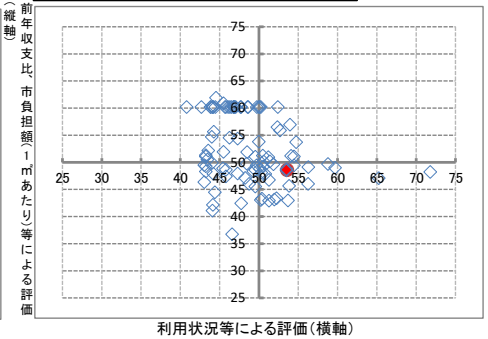
参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	26,950	37,572	36,533	1人当たりのコスト（円）	586	809	911
施設利用率（%）	13.8	13.7	11.6	1開館日当たりのコスト（円）	69,042	96,253	93,593
1日当たり利用者（人）	118	119	103	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	—	—
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考（公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋）

利用者の圏域毎の方向性

地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	（1）維持管理	—	（2）改修・更新時	—	（3）その他	—

住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。

施設カルテ　2024

リストNo	03-057	施設コード	04266		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	浜北地域活動・研修センター				
所在(町名・番地)	浜名区於呂2829-1				
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課 本庁	産業部産業振興課　雇用・労政担当	課長名	木下　真弥		
所管課 施設	浜名区・まちづくり推進課	課長名	山本　佳弘		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市浜北地域活動・研修センター条例				
設置目的	地域住民のコミュニティ活動の推進並びに職業能力及び教養の向上を図る。				
主な利用者	企業等団体、サークル活動利用者、地域住民、自治会等各種地域団体				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	8:30 ～ 21:30				

建物情報 総延床面積	1,751.46	土地情報 土地面積	3,832.94	
建物情報 構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			
建物情報 地上階数(主要建物)	3	うち所有面積	2,360.94	
建物情報 耐震性能(Is値)(主要建物)	0.88			
建物情報 耐震工事(主要建物)	－	うち借地面積	1,472.00	
建物情報 建築年月日(主要建物)	1980/12/29			
建物情報 経過年数(主要建物)	43	代表地目(現況地目)	宅地	
用途地域	市街化調整区域			

区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	—	—	—
財源 国・県	—	—	—
財源 寄付金	—	—	—
財源 その他	—	—	—
財源 市債	—	—	—
財源 一般財源	—	—	—

特記事項 —

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	1,360	1,504	1,271
収入(千円)	国県支出金	0	0	0
収入(千円)	その他収入	420	410	382
収入(千円)	収入計(A)	1,780	1,914	1,653
支出(千円)	人件費	22,400	22,400	22,400
支出(千円)	物件費(委託料)	3,097	3,003	2,989
支出(千円)	維持補修費(修繕費)	2,244	2,535	738
支出(千円)	物件費(光熱水費)	2,004	2,169	1,778
支出(千円)	物件費(借地料)	627	628	630
支出(千円)	支出計(B)	30,372	30,735	28,535
行政コスト(B－A)		28,592	28,821	26,882
収支前年比		99.21	107.21	93.63
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,346	1,346	1,346
利用状況	利用コマ数/年	4,537	4,977	4,229
利用状況	利用可能コマ数/年	32,136	32,032	29,160
利用状況	施設利用者数/年	25,329	23,223	20,613
利用状況	開館日数/年	309	309	308
利用状況	施設定員数	567	567	567
利用状況	図書貸出冊数/年	—	—	72
利用状況	蔵書数	—	—	2,996
利用状況	入居戸数	—	—	—
利用状況	全戸数	—	—	—
利用状況	クラス数	—	—	—
利用状況	生徒数	—	—	—

BS情報 有形固定資産(千円)		
土地	建物	その他
80,404	43,678	—

主な改修履歴

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2018	ユニバーサル化整備工事	8,580			
2014	改修工事	38,138			
2012	受変電設備改修工事	9,153			

近隣施設

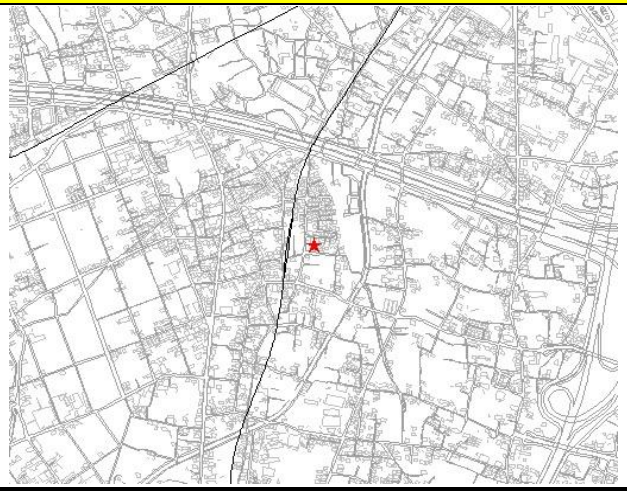
同分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-055	中瀬協働センター	生活	1.4

その他の分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-024	浜北消防署赤佐出張所	地域	0.5
15-077	赤佐小学校	生活	0.6
07-058	赤佐タイガークラブ	生活	0.6
08-072	赤佐幼稚園	生活	0.6
15-137	浜北北部中学校	生活	0.7
14-090	浜北北部分団赤佐	コミュニティ	0.7
13-067	根堅団地	地域	0.9
08-065	赤佐西幼稚園	生活	1.0

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-057	施設コード	04266	所管課	本庁	産業部産業振興課　雇用・労政担当
施設名	浜北地域活動・研修センター				施設	浜名区・まちづくり推進課
人員数	正規職員（人）	2	会計年度任用職員（人）	3	再任用（人）	—
複合施設	—					

施設運営分析

関連政策名：だれもが働きやすい労働・雇用環境の整備

設置の妥当性

設置目的（再掲）

地域住民のコミュニティ活動の推進並びに職業能力及び教養の向上を図る。

主な業務内容	貸館業務・自主事業（講座等の開催）
主な利用者	企業等団体、サークル活動利用者、地域住民、自治会等各種地域団体

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	多少の減少は見られるが一定の利用者を確保している。
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	高齢化等の社会的変化はあるが、施設需要には大きな変動は無いと見込まれる。
特記事項	企業等の研修の場としても重要な役割を果たしている

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	パソコン教室 「パソコン基礎」7日、「ワード基礎」11日、「エクセル基礎」11日、「ワード応用」7日、「エクセル応用」7日	2023	770	430	561
		2022	770	50	330
		2021	770	50	455
事業②	IT学習支援事業 土曜日の午前中40日前後の開催。事前の申込不要	2023	70	—	137
		2022	72	—	188
		2021	78	—	301
事業③	宅建試験対策講座 6月～9月の日曜日に13日開催	2023	140	468	387
		2022	140	23	256
		2021	140	26	290
事業④	簿記3級対策講座 7月～10月の水曜日に13日開催	2023	91	234	174
		2022	91	23	197
		2021	91	13	149

施設に関する課題等（ハード面から）

施設所管課・本庁所管課　記入欄

課題

施設・設備の老朽化が進んでおり、修繕箇所等はその都度対応しているが、今後、全体的な修繕が必要となっている。

対応策

平成27年度に改修工事、平成30年度にユニバーサルデザイン化整備工事などを行ったが、施設の老朽化に伴い修繕箇所が増えている。
定期点検結果を踏まえ計画的な修繕を実施する。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

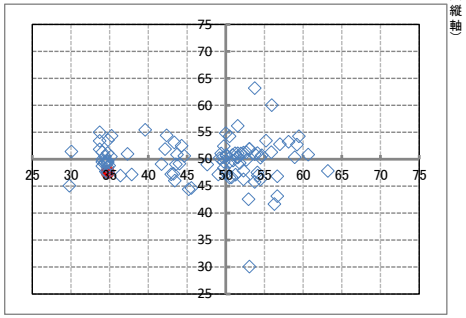
民活導入

当館は市民サービスセンター（赤佐）併設のため難しい。

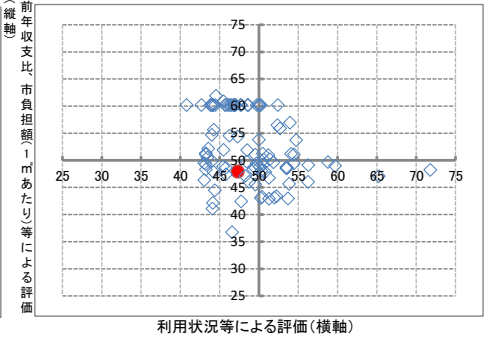
参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	16,325	16,455	15,348	1人当たりのコスト（円）	1,129	1,241	1,304
施設利用率（%）	14.1	15.5	14.5	1開館日当たりのコスト（円）	92,531	93,272	87,279
1日当たり利用者（人）	82	75	67	1定員当たりのコスト（円）	50,427	50,831	47,411
図書貸出率（%）	—	—	2.4	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	—	373,361
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考　公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋

利用者の圏域毎の方向性

地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

当施設は、産業施策の他、住民サービスを提供する複合的施設であるため、適切な維持管理に努める。

施設カルテ　　2024

リストNo	03-058	施設コード	04523		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	二俣ふれあいセンター				
所在(町名・番地)	天竜区二俣町二俣184-32				
利用者の圏域別分類等	生活	中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課 本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名	嶋津　裕亮		
所管課 施設	天竜区・まちづくり推進課	課長名	佐々木　豊		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市行政センター、支所、協働センター及びふれあいセンター条例				
設置目的	市民協働によるコミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図るため設置する.				
主な利用者	地域活動団体、一般団体				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00 ～ 21:30				

建物情報		土地情報		
総延床面積	2,244.53	土地面積		6,822.82
構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造	うち所有面積		6,416.18
地上階数(主要建物)	2	うち借地面積		406.64
耐震性能(Is値)(主要建物)	1.33	代表地目(現況地目)		宅地
耐震工事(主要建物)	-			
建築年月日(主要建物)	1980/7/31			
経過年数(主要建物)	43			

用途地域	第二種中高層住居専用地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	—	—	—
財源 国・県	—	—	—
財源 寄付金	—	—	—
財源 その他	—	—	—
財源 市債	—	—	—
財源 一般財源	—	—	—
特記事項	—		

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	1,272	1,238	964
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	193	32	167
	収入計(A)	1,465	1,270	1,131
支出(千円)	人件費	50,126	54,235	54,218
	物件費(委託料)	3,086	2,954	2,817
	維持補修費(修繕費)	1,732	1,348	1,564
	物件費(光熱水費)	3,313	3,717	2,827
	物件費(借地料)	111	111	111
	支出計(B)	58,368	62,365	61,537
行政コスト(B－A)		56,903	61,095	60,406
収支前年比		93.14	101.14	99.75
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		17,643	17,643	17,643
利用状況	利用コマ数/年	5,125	5,105	4,457
	利用可能コマ数/年	46,104	45,594	44,317
	施設利用者数/年	67,405	65,142	63,776
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	64,265	65,715	73,072
	蔵書数	110,008	111,563	115,813
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—

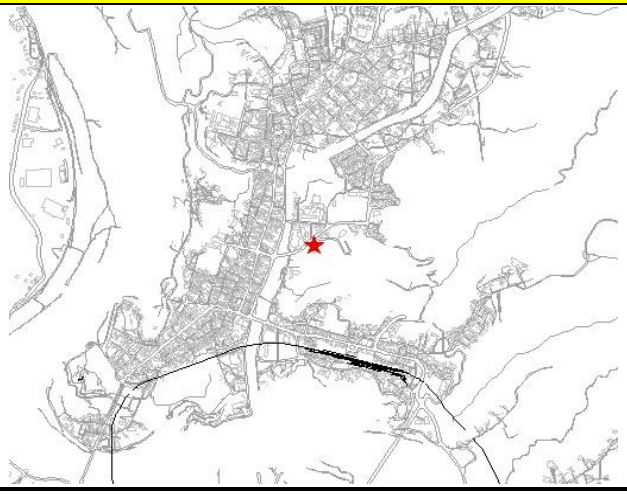
BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	218,856	43,307	—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2016	改修工事(給水設備)	7,329			
	2016	改修工事(外壁)	16,900			
	2014	改修工事(機械設備工事)	81,894			
	2014	改修工事(建築工事)	36,397			
	2014	改修工事(電気設備工事)	34,544			
	2014	LED照明導入工事	3,326			

近隣施設

同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	03-016	天竜壬生ホール	地域	0.6
	03-062	光明ふれあいセンター	生活	1.9
その他の分類	04-012	秋野不矩美術館	市域	0.1
	13-085	田組西団地	地域	0.3
	08-082	二俣幼稚園	生活	0.4
	04-030	ヤマタケの蔵	地域	0.4
	14-093	天竜第1分団横町	コミュニティ	0.4
	14-096	天竜第1分団諏訪町	コミュニティ	0.4
	04-042	ものづくり伝承館	文化財	0.4
	07-067	ふたまた児童クラブ	生活	0.5

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-058	施設コード	04523	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
施設名	二俣ふれあいセンター				施設	天竜区・まちづくり推進課
人員数	正規職員（人）	4	会計年度任用職員（人）	6	再任用（人）	1
複合施設	天竜図書館					

施設運営分析

関連政策名：市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

市民協働によるコミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図るため設置する.

主な業務内容	貸し館業務・自主事業（講座等の企画・開催）・地域づくり活動の支援
主な利用者	地域活動団体、一般団体

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり需要は確保されている。
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	高齢化の進展により身近にある施設として欠かせないものとなる。
特記事項	生涯学習の拠点として必要不可欠な施設。

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	地域ふれあいフェスタ事業（二俣ふれあいセンターまつり）	2023	243	400	700
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業②	こども講座（4講座・4回）	2023	101	104	139
		2022	49	100	117
		2021	39	95	93
事業③	ヒューマンセミナー（1講座・8回）	2023	56	80	76
		2022	56	160	139
		2021	56	160	145
事業④	地域文化セミナー（8講座・11回）	2023	49	112	166
		2022	63	143	159
		2021	63	109	110

施設に関する課題等（ハード面から）

施設所管課・本庁所管課　記入欄

課題

建築年が昭和55年であり、施設の老朽化に伴う修繕を要する箇所が多数ある。

対応策

計画的な施設修繕を実施するとともに、施設利用に支障がある箇所については、小額工事で早急に必要な改修を行う。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

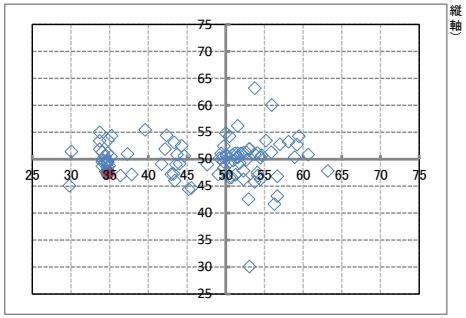
民活導入

市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。

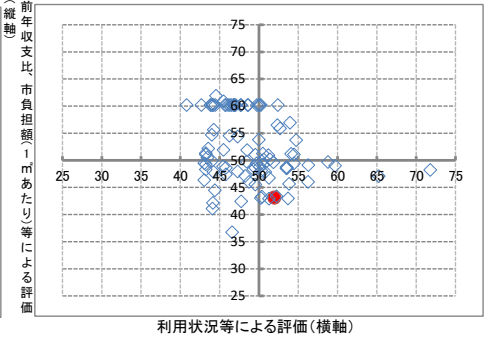
参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	25,352	27,220	26,913	1人当たりのコスト（円）	844	938	947
施設利用率（%）	11.1	11.2	10.1	1開館日当たりのコスト（円）	158,504	170,181	168,262
1日当たり利用者（人）	188	181	178	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	58.4	58.9	63.1	1貸出冊当たりのコスト（円）	885	930	827
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考（公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋）

利用者の圏域毎の方向性

地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	（1）維持管理	—	（2）改修・更新時	—	（3）その他	—

住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。

施設カルテ　2024

リストNo	03-059	施設コード	04524		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	熊ふれあいセンター				
所在(町名・番地)	天竜区熊1977-2				
利用者の圏域別分類等	生活	中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課 本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名	嶋津　裕亮		
所管課 施設	天竜区・まちづくり推進課	課長名	佐々木　豊		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市行政センター、支所、協働センター及びふれあいセンター条例				
設置目的	市民協働によるコミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図るため設置する.				
主な利用者	地域活動団体、一般地域住民				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00 ～ 21:30				

建物情報		土地情報		
総延床面積	758.09	土地面積	1,287.03	
構造(主要建物)	木造			
地上階数(主要建物)	2	うち所有面積	1,287.03	
耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
耐震工事(主要建物)	-	うち借地面積	0.00	
建築年月日(主要建物)	1994/3/18			
経過年数(主要建物)	30	代表地目(現況地目)	宅地	
用途地域	都市計画区域外			

区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費		—	—	—
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

特記事項　—

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	121	128	225
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	16	167	13
	収入計(A)	137	295	238
支出(千円)	人件費	13,400	13,400	13,400
	物件費(委託料)	918	883	944
	維持補修費(修繕費)	409	765	437
	物件費(光熱水費)	1,139	1,235	1,145
	物件費(借地料)	0	68	82
	支出計(B)	15,866	16,351	16,008
行政コスト(B－A)		15,729	16,056	15,770
収支前年比		97.96	101.81	99.91
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		5,199	5,199	5,199
利用状況	利用コマ数/年	321	324	434
	利用可能コマ数/年	32,760	32,669	32,081
	施設利用者数/年	1,907	1,376	2,335
	開館日数/年	360	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	1	—
	蔵書数	317	317	323
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—

BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	5,214	19,440	—

主な改修履歴

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2017	外壁改修工事	5,540			
2011	耐震補強工事	33,292			

近隣施設

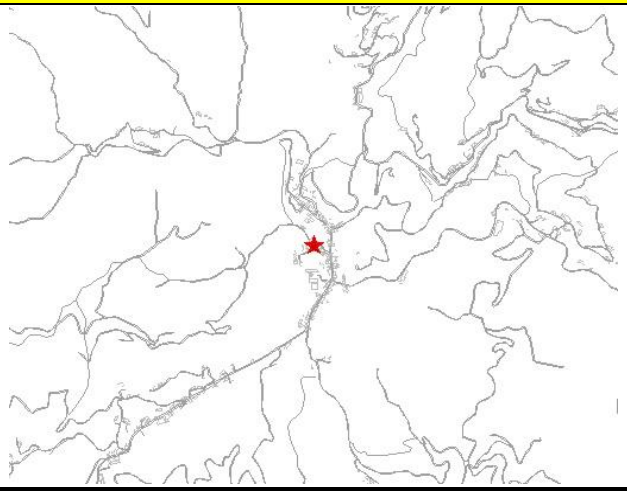
同分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)

その他の分類

25-023	旧熊市場簡易水道	—	0.1
10-021	くんまデイサービスセンター	地域	0.2
15-090	熊小学校	生活	0.2
14-120	天竜第11分団熊	コミュニティ	0.2
04-050	黒滝あずまや	小規模等	1.8

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-059	施設コード	04524	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
施設名	熊ふれあいセンター				施設	天竜区・まちづくり推進課
人員数	正規職員（人）	1	会計年度任用職員（人）	1	再任用（人）	1
複合施設	—					

施設運営分析

関連政策名：市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

市民協働によるコミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図るため設置する.

主な業務内容	貸館業務、自主事業（講座等の企画・開催）、地域活動の支援、窓口サービスの提供
主な利用者	地域活動団体、一般地域住民

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり需要は確保されている。
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	高齢者の増加とともに身近な学習施設、行政窓口としてニーズが増す。
特記事項	地域住民にとって生活圏域に唯一の施設である。

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	ふれあいセンター自主事業講座 子ども講座（4講座）、アクティブ・シニア講座（1講座）、地域文化セミナー（6講座）、地域づくり講座（1講座） 令和4年度に比べ参加者数はほぼ横ばいであった。	2023	131	330	153
		2022	134	331	156
		2021	83	140	97
事業②	ふれあいセンターまつり（令和5年11月11日～12日） ふれあいセンター活動の成果発表を中心に、作品展示、ステージ発表、ふれあい広場など、地域住民の発表と交流の場として関係団体と協働で開催。 ※令和元年度以来4年振りの開催	2023	105	—	131
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業③	くんま☆みんなの作品展示会（終了） ふれあいセンターまつりの代替（センター自主事業）として開催していたが、令和5年度はセンターまつりを開催したため実施せず。	2023	—	—	—
		2022	—	—	78
		2021	—	—	120
事業④	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—

施設に関する課題等（ハード面から）

施設所管課・本庁所管課　記入欄

課題

元々は3つの施設に分かれていたこともあり、場所によっては経年劣化による施設設備の損傷・故障等が発生している。今のところ大規模な修繕の必要はないが、特に空調は古いものが多く故障しても交換部品がないため新たな機器を更新するしかない。

対応策

空調については令和4年度から3年間の更新計画を作成し、使用不能の機器、使用頻度の高い機器及び作動状況の悪い機器等から順次更新を行い令和6年度には計画達成となる。空調以外の箇所については12条点検及び施設パトロールの結果を踏まえ、計画的に修繕を行っていくとともに臨時的な修繕にも対応していく。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

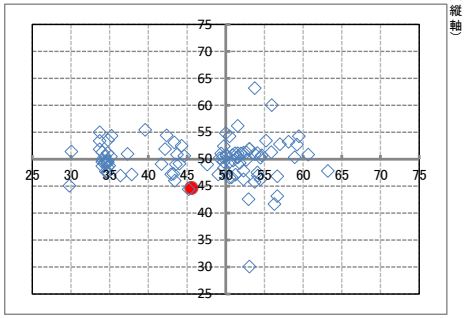
民活導入

地域性等を考慮し、現行通りの管理、運営を行っていく。

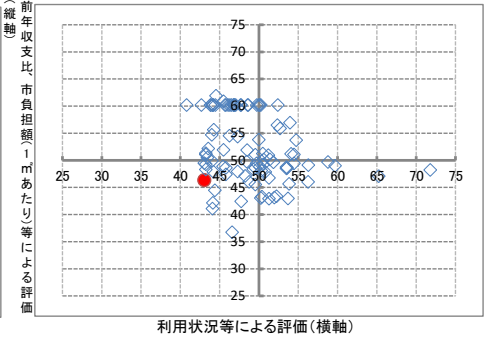
参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	20,748	21,180	20,802	1人当たりのコスト（円）	8,248	11,669	6,754
施設利用率（%）	1.0	1.0	1.4	1開館日当たりのコスト（円）	43,692	44,724	43,928
1日当たり利用者（人）	5	4	7	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	0.0	0.3	0.0	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	16,056,000	—
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考（公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋）

利用者の圏域毎の方向性

地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	（1）維持管理	—	（2）改修・更新時	—	（3）その他	—

住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。

施設カルテ　　2024

リストNo	03-060	施設コード	04525		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	上阿多古ふれあいセンター				
所在(町名・番地)	天竜区西藤平1555				
利用者の圏域別分類等	生活	中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課 本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名	嶋津　裕亮		
所管課 施設	天竜区・まちづくり推進課	課長名	佐々木　豊		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市行政センター、支所、協働センター及びふれあいセンター条例				
設置目的	市民協働によるコミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図るため設置する.				
主な利用者	地域活動団体・各種団体・地域住民				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00 ～ 21:30				

建物情報		土地情報		
総延床面積	1,682.09	土地面積	4,228.25	
構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			
地上階数(主要建物)	2	うち所有面積	4,228.00	
耐震性能(Is値)(主要建物)	1.41			
耐震工事(主要建物)	有	うち借地面積	0.25	
建築年月日(主要建物)	1980/3/15			
経過年数(主要建物)	44	代表地目(現況地目)	学校用地	
用途地域	都市計画区域外			

区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費		—	—	—
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

特記事項　—

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	152	137	103
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	25	12	36
	収入計(A)	177	149	139
支出(千円)	人件費	14,200	14,200	14,200
	物件費(委託料)	994	1,018	959
	維持補修費(修繕費)	1,025	1,686	661
	物件費(光熱水費)	622	716	645
	物件費(借地料)	1	1	1
	支出計(B)	16,842	17,621	16,466
行政コスト(B－A)		16,665	17,472	16,327
収支前年比		95.38	107.01	101.57
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		3,128	3,128	3,128
利用状況	利用コマ数/年	841	788	585
	利用可能コマ数/年	41,925	42,003	40,833
	施設利用者数/年	4,582	4,842	4,055
	開館日数/年	360	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	24	11	33
	蔵書数	498	499	499
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—

BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	23,647	88,997	—

主な改修履歴

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2021	体育館外壁・屋根改修工事	14,428			
2012	付設体育館耐震補強工事	42,653			
2006	耐震補強工事(建築工事)	78,015			
2006	耐震補強工事(機械設備工事)	18,376			

近隣施設

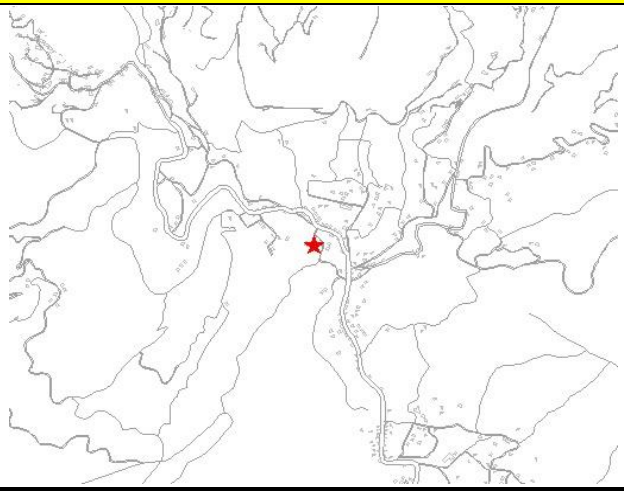
同分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)

その他の分類

05-045	上阿多古運動場器具庫	小規模等	0.0
14-117	天竜第10分団西藤平	コミュニティ	0.2
22-009	あたご診療所	生活	0.2
08-081	上阿多古幼稚園	生活	0.2
15-093	上阿多古小学校	生活	0.2
02-013	あたご診療所医師住宅	地域	0.3
14-119	天竜第10分団東藤平	コミュニティ	0.7
25-033	旧西藤平簡易水道	—	0.7

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-060	施設コード	04525	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
施設名	上阿多古ふれあいセンター				施設	天竜区・まちづくり推進課
人員数	正規職員（人）	1	会計年度任用職員（人）	—	再任用（人）	2
複合施設	—					

施設運営分析

関連政策名：市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

市民協働によるコミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図るため設置する.

主な業務内容	自主事業（講座・コミュニティ事業等の企画・開催）・貸館業務・中山間地域の振興
主な利用者	地域活動団体・各種団体・地域住民

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、常用は確保されている
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	利用者の高齢化に伴い、身近な施設としてニーズが増す
特記事項	生涯学習や地域交流、地区防災の拠点として不可欠な施設

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	地域ふれあいフェスタ 上阿多古ふれあいセンターまつり ※令和元年度以来4年振りの開催	2023	125	—	260
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業②	ふれあいセンター自主事業講座 子ども講座(3講座)アクティブシニア講座(2講座)地域文化セミナー(7講座)	2023	173	234	130
		2022	203	247	210
		2021	156	226	196
事業③	かみあたご☆ふれあい作品展（終了） ふれあいセンターまつりの代替（センター自主事業）として開催していたが、令和5年度はセンターまつりを開催したため実施せず。	2023	—	—	—
		2022	—	—	200
		2021	—	—	170
事業④	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—

施設に関する課題等（ハード面から）

施設所管課・本庁所管課　記入欄

課題

施設のLED照明器具の導入が進む中、附設体育館は水銀灯を使用している。水銀灯の製造終了に伴い、在庫不足のため今後の体育館使用に支障をきたすことが予想される。

対応策

附設体育館のLED化を実現するために、計画的に改修を行う。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

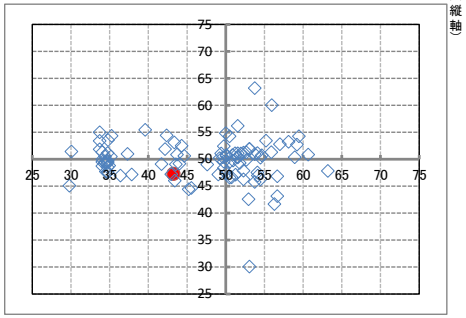
民活導入

地域性等を考慮し、現行通りの管理、運営を行っていく。

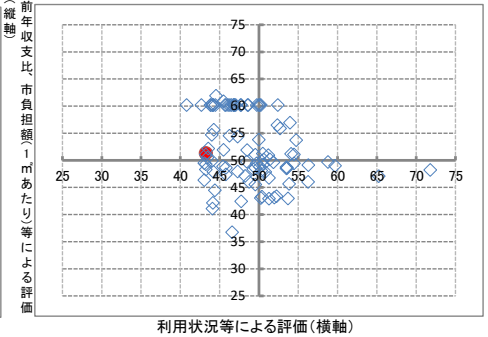
参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	9,907	10,387	9,706	1人当たりのコスト（円）	3,637	3,608	4,026
施設利用率（%）	2.0	1.9	1.4	1開館日当たりのコスト（円）	46,292	48,669	45,479
1日当たり利用者（人）	13	13	11	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	4.8	2.2	6.6	1貸出冊当たりのコスト（円）	694,375	1,588,364	494,758
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考（公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋）

利用者の圏域毎の方向性

地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	（1）維持管理	—	（2）改修・更新時	—	（3）その他	—

住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。

施設カルテ　2024

リストNo	03-061	施設コード	04526		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	下阿多古ふれあいセンター				
所在(町名・番地)	天竜区上野172-3				
利用者の圏域別分類等	生活	中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課 本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名	嶋津　裕亮		
所管課 施設	天竜区・まちづくり推進課	課長名	佐々木　豊		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市行政センター、支所、協働センター及びふれあいセンター条例				
設置目的	市民協働によるコミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図るため設置する.				
主な利用者	地域活動団体10団体、自治会、下阿多古地区シニアクラブ、下阿多古小学校児童等				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00 ～ 21:30				

建物情報		土地情報		
総延床面積	764.87	土地面積		1,474.35
構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	うち所有面積		0.00
地上階数(主要建物)	2	うち借地面積		1,474.35
耐震性能(Is値)(主要建物)	1.20	代表地目(現況地目)		
耐震工事(主要建物)	-			
建築年月日(主要建物)	1976/12/1			
経過年数(主要建物)	47			

用途地域	都市計画区域外

区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費		—	—	—
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

特記事項	—

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	199	161	178
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	16	21	9
	収入計(A)	215	182	187
支出(千円)	人件費	14,200	14,200	14,200
	物件費(委託料)	647	646	631
	維持補修費(修繕費)	68	565	1,568
	物件費(光熱水費)	903	938	893
	物件費(借地料)	415	415	415
	支出計(B)	16,233	16,764	17,707
行政コスト(B－A)		16,018	16,582	17,520
収支前年比		96.60	94.65	99.01
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,847	3,256	4,946
利用状況	利用コマ数/年	1,195	882	728
	利用可能コマ数/年	32,396	32,669	31,679
	施設利用者数/年	5,722	4,684	4,798
	開館日数/年	360	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	3	28	3
	蔵書数	645	645	709
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—

BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	0	28,324	—

主な改修履歴

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2017	屋根防水工事	4,482			

近隣施設

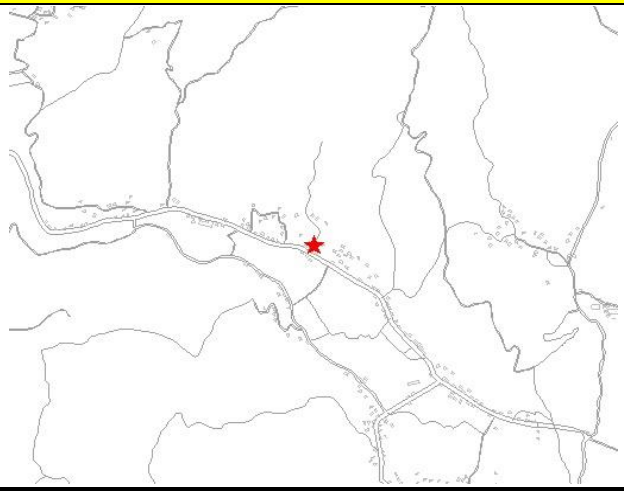
同分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)

その他の分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-111	天竜第8分団上野	コミュニティ	0.3
25-045	旧両島簡易水道	—	0.4
16-008	ほっとエリア阿多古活動拠点施設	市域	0.5
08-076	下阿多古幼稚園	生活	0.9
15-087	下阿多古小学校	生活	0.9
14-114	天竜第8分団両島	コミュニティ	1.0
26-029	両島農業集落排水処理施設	—	1.1
14-116	天竜第8分団米沢	コミュニティ	1.2

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-061	施設コード	04526	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	
施設名	下阿多古ふれあいセンター				施設	天竜区・まちづくり推進課	
人員数	正規職員（人）	1	会計年度任用職員（人）	—	再任用（人）	2	
複合施設	—						

施設運営分析

関連政策名：市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

市民協働によるコミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図るため設置する.

主な業務内容	貸し館業務・自主事業（講座等の企画・開催）・中山間地域の振興
主な利用者	地域活動団体10団体、自治会、下阿多古地区シニアクラブ、下阿多古小学校児童等

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者はあり、需要は確保されている
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	高齢者層の人口増加に伴い、身近にある施設としてニーズが増す。
特記事項	地域交流・生涯学習の拠点として、必要不可欠な施設。

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	地域ふれあいフェスタ（ふれあいセンターまつり）：開催日数1日（作品展示3日間）、25団体参加（作品展示、芸能発表、模擬店を通じて地域住民の交流を図る。）	2023	166	280	280
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業②	子ども講座：3講座、延べ3日開催（阿多古川の水生生物調査、ストーンペインティングアート、クリスマスケーキ作り教室）	2023	34	41	27
		2022	24	39	34
		2021	14	19	19
事業③	アクティブ・シニア講座：4講座、延べ13日開催（レクダンス、交通安全教室、健康講座、切り絵教室）	2023	25	456	238
		2022	25	470	240
		2021	19	366	189
事業④	地域文化セミナー：3講座、延べ3日開催（身近な税金教室、秋の和菓子講座、寄せ植え教室）	2023	28	50	33
		2022	14	15	8
		2021	14	15	8

施設に関する課題等（ハード面から）

課題

・建物が築46年を経過しており、ユニバーサルデザイン化の対応は充分できていない。
・老朽化により床や建具に損傷が見られるほか、外壁塗装も必要な時期がきている。

対応策

公共建築課の長寿命化のための大規模改修事業により、UD化とともに利用上支障のある箇所を併せて、修繕していく。
（R5設計、R8施工予定）

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

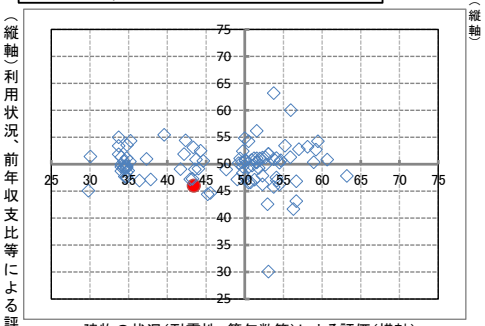
民活導入

地域性等を考慮し、現行通りの管理、運営を行っていく。

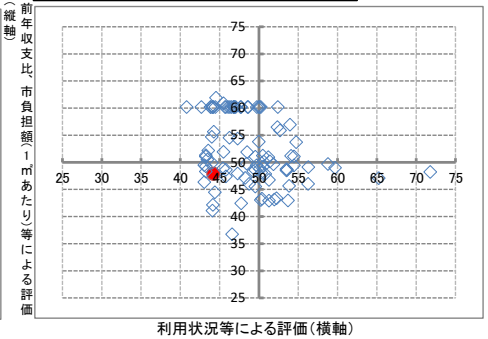
参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	20,942	21,680	22,906	1人当たりのコスト（円）	2,799	3,540	3,652
施設利用率（%）	3.7	2.7	2.3	1開館日当たりのコスト（円）	44,494	46,189	48,802
1日当たり利用者（人）	16	13	13	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	0.5	4.3	0.4	1貸出冊当たりのコスト（円）	5,339,333	592,214	5,840,000
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考（公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋）

利用者の圏域毎の方向性

地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	（1）維持管理	—	（2）改修・更新時	—	（3）その他	—

住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。

施設カルテ　　2024

リストNo	03-062	施設コード	04527		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	光明ふれあいセンター				
所在(町名・番地)	天竜区山東2309-8				
利用者の圏域別分類等	生活	中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課 本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名	嶋津　裕亮		
所管課 施設	天竜区・まちづくり推進課	課長名	佐々木　豊		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市行政センター、支所、協働センター及びふれあいセンター条例				
設置目的	市民協働によるコミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図るため設置する.				
主な利用者	地域活動団体25団体、各種団体等				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00 ～ 21:30				

建物情報		土地情報		
総延床面積	1,158.68	土地面積		1,911.68
構造(主要建物)	木造	うち所有面積		1,383.08
地上階数(主要建物)	1	うち借地面積		528.60
耐震性能(Is値)(主要建物)	新	代表地目(現況地目)		宅地
耐震工事(主要建物)	-			
建築年月日(主要建物)	1998/11/6			
経過年数(主要建物)	25			
用途地域	第一種中高層住居専用地域			

区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費		—	—	—
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

特記事項　—

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	1,164	1,052	1,023
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	263	337	144
	収入計(A)	1,427	1,389	1,167
支出(千円)	人件費	13,400	14,200	14,200
	物件費(委託料)	1,439	1,157	1,466
	維持補修費(修繕費)	64	152	303
	物件費(光熱水費)	1,872	1,911	1,611
	物件費(借地料)	233	233	233
	支出計(B)	17,008	17,653	17,813
行政コスト(B－A)		15,581	16,264	16,646
収支前年比		95.80	97.71	96.51
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,780	2,780	2,780
利用状況	利用コマ数/年	4,418	4,162	3,522
	利用可能コマ数/年	46,950	49,411	46,899
	施設利用者数/年	15,095	14,370	14,789
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	49	28	11
	蔵書数	179	165	172
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—

BS情報

有形固定資産(千円)		
土地	建物	その他
39,756	11,122	—

主な改修履歴

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	給水設備改修工事	8,730			
2017	外壁改修工事	6,143			
2013	外壁補修工事(旧天竜勤労青少年ホーム部分)	9,349			
2010	下水道接続工事	3,675			
2007	屋根防水改修工事	4,200			

近隣施設

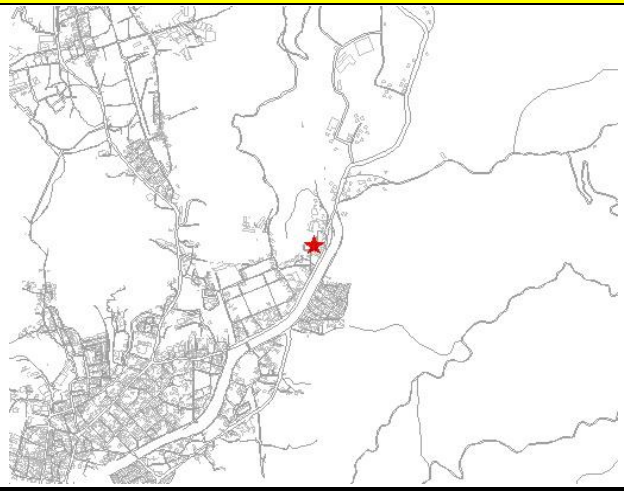
同分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-058	二俣ふれあいセンター	生活	1.9

その他の分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)
05-044	天竜庭球場トイレ	小規模等	0.1
14-098	天竜第4分団相生	コミュニティ	0.1
08-079	光明幼稚園	生活	0.1
15-097	光明小学校	生活	0.5
15-141	光が丘中学校	生活	0.7
14-097	天竜第4分団栄町	コミュニティ	1.1
13-083	大谷団地	地域	1.2
18-010	天竜防災センター	地域	1.3

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-062	施設コード	04527	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
施設名	光明ふれあいセンター				施設	天竜区・まちづくり推進課
人員数	正規職員（人）	1	会計年度任用職員（人）	1	再任用（人）	1
複合施設	—					

施設運営分析

関連政策名：市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

市民協働によるコミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図るため設置する.

主な業務内容	貸し館業務・自主事業（講座等の企画・開催）・中山間地域の振興
主な利用者	地域活動団体25団体、各種団体等

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり需要は確保されている。
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズが増す
特記事項	地域づくり及び生涯学習の拠点として必要不可欠な施設

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	地域文化セミナー、パン＆ケーキ講座、ビーズアクセサリー講座、多肉植物寄せ植え講座、ミニ門松講座、モロッカンフレート講座他	2023	728	2,076	1,625
		2022	841	1,561	276
		2021	728	2,138	1,419
事業②	地域ふれあいフェスタ（ふれあいセンターまつり）：中止	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業③	子ども講座：5講座5日開催（工作教室、陶芸教室、グラスアート教室、羊毛フェルト教室、カップケーキデコレーション教室）たんぽぽ学級	2023	43	51	51
		2022	92	157	79
		2021	211	490	282
事業④	アクティブ・シニア講座（友遊学級）：中止	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—

施設に関する課題等（ハード面から）

施設所管課・本庁所管課　記入欄

課題

別館は旧勤労青少年ホームとして使用していた鉄筋コンクリート造り2階建ての施設で昭和53年の完成から40年以上を経過し、ユニバーサルデザイン化も進んでいない。また、老朽化により修繕を要する箇所が増えている。本館は光明公民館として平成10年に新築された木造平屋建ての施設で築後20年以上が経過した。

対応策

別館は平成25年度に外壁補修工事を実施、平成27年度には内壁のクラック修繕を実施。令和7年度以降に公共建築課の長寿命化のための大規模改修事業を実施予定。
本館は平成29年度に外壁塗装工事、令和2年度には別館給水設備改修工事を実施。今後も随時修繕を実施していく。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

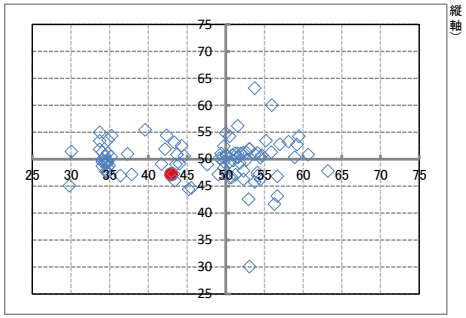
民活導入

地域性等を考慮し、現行通りの管理、運営を行っていく。

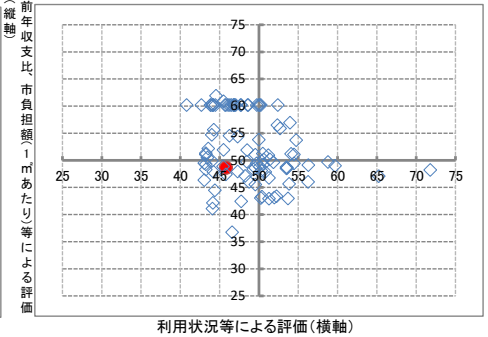
参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	13,447	14,037	14,366	1人当たりのコスト（円）	1,032	1,132	1,126
施設利用率（%）	9.4	8.4	7.5	1開館日当たりのコスト（円）	43,401	45,304	46,368
1日当たり利用者（人）	42	40	41	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	27.4	17.0	6.4	1貸出冊当たりのコスト（円）	317,980	580,857	1,513,273
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考（公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋）

利用者の圏域毎の方向性

地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	（1）維持管理	—	（2）改修・更新時	—	（3）その他	—

住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。

施設カルテ　2024

リストNo	03-063	施設コード	04528		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	竜川ふれあいセンター				
所在(町名・番地)	天竜区横山町772-1				
利用者の圏域別分類等	生活	中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課 本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名	嶋津　裕亮		
所管課 施設	天竜区・まちづくり推進課	課長名	佐々木　豊		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市行政センター、支所、協働センター及びふれあいセンター条例				
設置目的	市民協働によるコミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図るため設置する.				
主な利用者	地域活動団体・各種団体等				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00 ～ 21:30				

建物情報		土地情報		
総延床面積	1,246.08	土地面積		2,062.14
構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	うち所有面積		2,062.14
地上階数(主要建物)	2			
耐震性能(Is値)(主要建物)	新	うち借地面積		0.00
耐震工事(主要建物)	-			
建築年月日(主要建物)	1994/12/20	代表地目(現況地目)		宅地
経過年数(主要建物)	29			

用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	—	—	—
財源 国・県	—	—	—
財源 寄付金	—	—	—
財源 その他	—	—	—
財源 市債	—	—	—
財源 一般財源	—	—	—
特記事項	—		

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	145	145	121
収入(千円)	国県支出金	0	0	0
収入(千円)	その他収入	15	11	10
収入(千円)	収入計(A)	160	156	131
支出(千円)	人件費	12,600	13,400	13,400
支出(千円)	物件費(委託料)	1,372	1,344	1,275
支出(千円)	維持補修費(修繕費)	897	295	740
支出(千円)	物件費(光熱水費)	1,445	1,456	1,262
支出(千円)	物件費(借地料)	0	0	0
支出(千円)	支出計(B)	16,314	16,495	16,677
行政コスト(B－A)		16,154	16,339	16,546
収支前年比		98.87	98.75	102.94
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		7,288	7,288	7,288
利用状況	利用コマ数/年	893	787	812
利用状況	利用可能コマ数/年	23,400	22,752	18,780
利用状況	施設利用者数/年	3,656	2,547	2,683
利用状況	開館日数/年	360	359	359
利用状況	施設定員数	—	—	—
利用状況	図書貸出冊数/年	79	25	224
利用状況	蔵書数	878	878	816
利用状況	入居戸数	—	—	—
利用状況	全戸数	—	—	—
利用状況	クラス数	—	—	—
利用状況	生徒数	—	—	—

BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	21,992	200,088	—

主な改修履歴

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2019	浜松市竜川ふれあいセンター外壁改修工事	13,809			

近隣施設

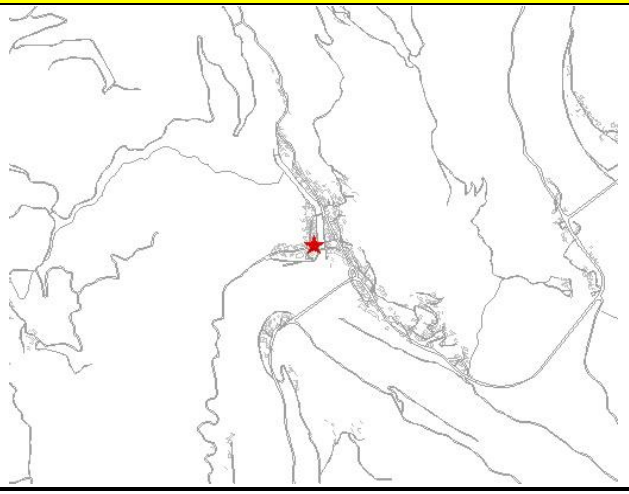
同分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)

その他の分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)
25-019	旧横山町簡易水道	—	0.1
08-083	竜川幼稚園	生活	0.1
15-086	横山小学校	生活	0.1
14-110	天竜第7分団市場	コミュニティ	0.2
14-106	天竜第7分団東	コミュニティ	0.5
18-011	竜川書庫	地域	0.5
14-109	天竜第7分団東雲名	コミュニティ	1.8

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-063	施設コード	04528	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
施設名	竜川ふれあいセンター				施設	天竜区・まちづくり推進課
人員数	正規職員（人）	1	会計年度任用職員（人）	2	再任用（人）	—
複合施設	—					

施設運営分析

関連政策名：市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

市民協働によるコミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図るため設置する.

主な業務内容	貸館業務・自主事業（講座等の企画・開催）・地域づくり活動の支援・中山間地域の振興
主な利用者	地域活動団体・各種団体等

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者はあり、需要は確保されている
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	高齢者層の人口増加に伴い、身近にある施設としてニーズが増す。
特記事項	地域交流・生涯学習の拠点として、必要不可欠な施設。

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	地域ふれあい事業 竜川ふれあいセンター活動の成果発表を通じて、地域住民の親睦と交流の場を提供する。	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	80
事業②	ふれあいセンター自主事業講座 子ども講座(2講座)、アクティブ・シニア講座(2講座)、地域文化セミナー(7講座)、地域づくり講座(1講座)、浜松市と大学との連携事業(1講座)等を開催した。	2023	144	236	248
		2022	112	177	118
		2021	133	203	129
事業③	竜川ふれあいセンターまつり（4年ぶりの開催・3月3日） 地域住民や小中学校児童・生徒等の作品展示、ステージ発表、飲食物等の物品販売を行った。	2023	135	—	130
		2022	—	—	50
		2021	—	—	—
事業④	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—

施設に関する課題等（ハード面から）

施設所管課・本庁所管課　記入欄

課題

施設内においてはユニバーサルデザイン対応が不十分であるとともに、老朽化に伴う修繕を要する箇所が発生している。特に主な貸スペースは2階に位置しており、その利用者の多くは高齢者であることから、エレベーターの早期設置が望まれる。

対応策

計画的な施設修繕を実施するとともに、必要最低限な修繕は早急に実施する。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

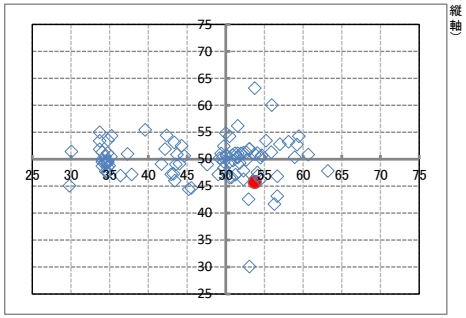
民活導入

地域性等を考慮し、現行通りの管理、運営を行っていく。

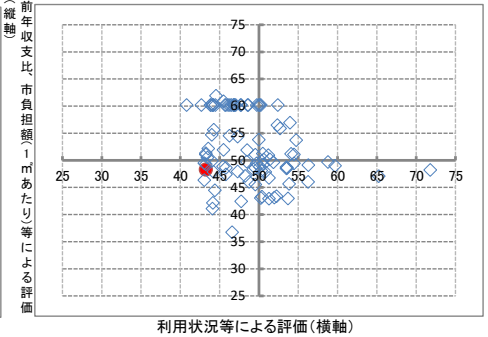
参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	12,964	13,112	13,278	1人当たりのコスト（円）	4,418	6,415	6,167
施設利用率（%）	3.8	3.5	4.3	1開館日当たりのコスト（円）	44,872	45,513	46,089
1日当たり利用者（人）	10	7	7	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	9.0	2.8	27.5	1貸出冊当たりのコスト（円）	204,481	653,560	73,866
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考（公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋）

利用者の圏域毎の方向性

地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。

施設カルテ　2024

リストNo	03-064	施設コード	04529		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	城西ふれあいセンター				
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町奥領家1528-4				
利用者の圏域別分類等	生活	中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課 本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名	嶋津　裕亮		
所管課 施設	天竜区・佐久間支所	課長名	高氏　淳		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市行政センター、支所、協働センター及びふれあいセンター条例				
設置目的	生涯学習の推進及び中山間地域の振興を図ることを目的として設置する。				
主な利用者	地域活動団体(13団体)、自治会、ボランティア団体等				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00 ～ 21:30				

建物情報 総延床面積	1,272.13	土地情報 土地面積	999.60	
建物情報 構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			
建物情報 地上階数(主要建物)	3	うち所有面積	355.75	
建物情報 耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
建物情報 耐震工事(主要建物)	-	うち借地面積	643.85	
建物情報 建築年月日(主要建物)	1990/9/17			
建物情報 経過年数(主要建物)	33	代表地目(現況地目)	宅地	
用途地域	都市計画区域外			

区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	—	—	—
財源 国・県	—	—	—
財源 寄付金	—	—	—
財源 その他	—	—	—
財源 市債	—	—	—
財源 一般財源	—	—	—

特記事項 —

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	97	101	93
収入(千円)	国県支出金	0	0	0
収入(千円)	その他収入	10	8	12
収入(千円)	収入計(A)	107	109	105
支出(千円)	人件費	13,400	13,400	13,400
支出(千円)	物件費(委託料)	1,431	1,362	1,560
支出(千円)	維持補修費(修繕費)	327	293	1,030
支出(千円)	物件費(光熱水費)	1,074	1,327	1,172
支出(千円)	物件費(借地料)	125	125	125
支出(千円)	支出計(B)	16,357	16,507	17,287
行政コスト(B－A)		16,250	16,398	17,182
収支前年比		99.10	95.44	98.12
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		5,522	5,522	5,522
利用状況	利用コマ数/年	555	448	456
利用状況	利用可能コマ数/年	18,612	18,668	18,556
利用状況	施設利用者数/年	2,949	2,812	3,360
利用状況	開館日数/年	360	359	359
利用状況	施設定員数	—	—	—
利用状況	図書貸出冊数/年	—	—	—
利用状況	蔵書数	—	—	—
利用状況	入居戸数	—	—	—
利用状況	全戸数	—	—	—
利用状況	クラス数	—	—	—
利用状況	生徒数	—	—	—

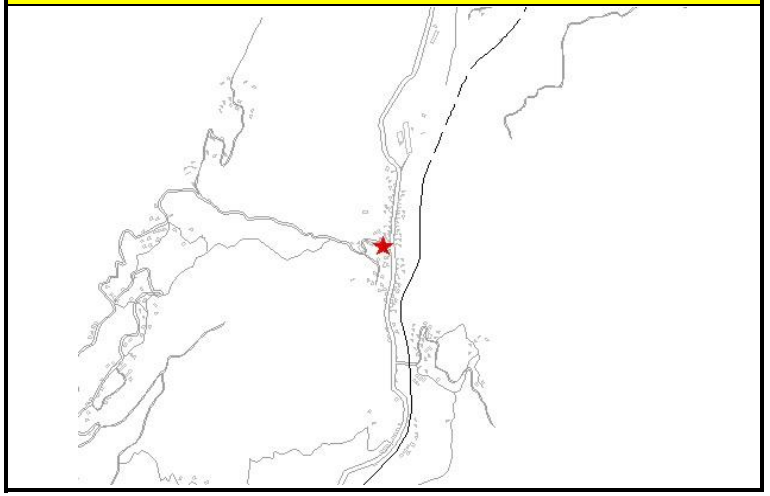
BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	1,965	93,880	—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	空調設備改修工事	36,775			
	2022	外壁改修	28,555			
	2022	屋根防水工事	4,347			

近隣施設

	No	施設名	圏域種別	距離(km)
同分類				
同分類				
同分類				
同分類				
同分類				
同分類				
同分類				
同分類				
同分類				
その他の分類	13-077	芋堀団地	地域	0.1
その他の分類	14-139	佐久間第2分団松島	コミュニティ	0.3
その他の分類	25-030	旧城西簡易水道	—	0.6
その他の分類	04-040	高根城復元施設	文化財	1.2
その他の分類	15-143	水窪中学校	生活	1.7
その他の分類	05-026	水窪総合体育館	地域	1.7
その他の分類	26-025	城西浄化センター	—	1.9
その他の分類				

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-064	施設コード	04529	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	
施設名	城西ふれあいセンター				施設	天竜区・佐久間支所	
人員数	正規職員（人）	1	会計年度任用職員（人）	1	再任用（人）	1	
複合施設	—						

施設運営分析

関連政策名：市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

生涯学習の推進及び中山間地域の振興を図ることを目的として設置する。

主な業務内容	貸館業務、自主事業（講座等の企画・開催）、中山間地域の振興
主な利用者	地域活動団体（13団体）、自治会、ボランティア団体等

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり需要は確保されている。
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	高齢者の増加に伴い地域市民のニーズは変化する可能性がある。
特記事項	生涯学習の拠点として必要不可欠な施設。

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	子供講座　佐久間小学校の児童を対象に実施。講師は地域のシニアクラブ会員等。地域住民と関わることで世代間の交流を促進する。	2023	—	17	17
		2022	—	16	16
		2021	—	16	16
事業②	アクティブシニア講座・地域文化セミナー　スマホ相談会（4回）、LINE活用講座（1回）、ビーズアクセサリづくり講座（1回）、パンづくり講座（3回）、焼き菓子づくり講座（1回）、パッチワーク教室（3回）、北遠地方史研究会佐久間お話と語りの交流会（1回）	2023	—	121	106
		2022	—	106	155
		2021	—	220	184
事業③	女性学級　開催日数8日、地域住民を対象に手芸講座を開催。募集人数＝10名程度　城西ふれあいセンターまつり（4年ぶりに開催・2月24日・25日）　地域活動団体及び地域住民による文化展・芸能発表会	2023	—	104	243
		2022	—	119	132
		2021	—	132	95
事業④	地域づくり講座　夏野菜のお知恵拝借座談会（1回）、講座そば打ち講座（3回）、おいしいぬか漬けづくり講座（1回）	2023	—	68	62
		2022	—	63	80
		2021	—	40	48

施設に関する課題等（ハード面から）

施設所管課・本庁所管課　記入欄

課題

施設は33年経過し、施設設備の老朽化が進んでいる。経年劣化による修繕箇所の発生が考えられる。

対応策

施設設備の不具合の多くを随時修理等により対応している状況である。建築基準法による定期点検等の他、自主点検を頻繁に行い、故障前に対応策を施すことで健全な施設管理を行う。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

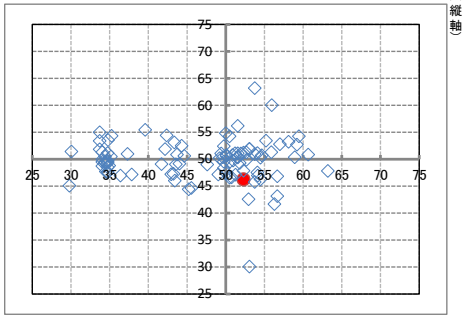
民活導入

地域性等を考慮し、現行どおりの管理、運営を行っていく。

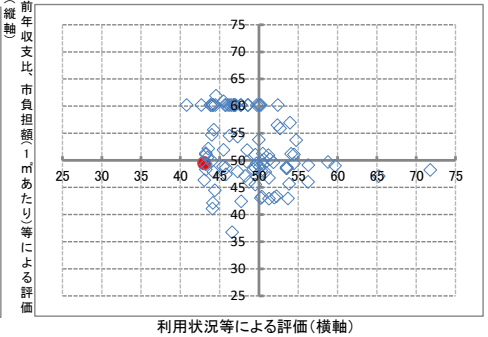
参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	12,774	12,890	13,506	1人当たりのコスト（円）	5,510	5,831	5,114
施設利用率（%）	3.0	2.4	2.5	1開館日当たりのコスト（円）	45,139	45,677	47,861
1日当たり利用者（人）	8	8	9	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	—	—
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考（公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋）

利用者の圏域毎の方向性

地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	（1）維持管理	—	（2）改修・更新時	—	（3）その他	—

住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。

施設カルテ　　2024

リストNo	03-065	施設コード	04530		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	山香ふれあいセンター				
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町大井2415-1				
利用者の圏域別分類等	生活	中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課 本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名	嶋津　裕亮		
所管課 施設	天竜区・佐久間支所	課長名	高氏　淳		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市行政センター、支所、協働センター及びふれあいセンター条例				
設置目的	生涯学習の推進及び中山間地域の振興を図ることを目的として設置する。				
主な利用者	地域活動団体(4団体)　自治会　ボランティア団体等				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00 ～ 21:30				

建物情報 総延床面積	672.94	土地情報 土地面積	4,314.50	
建物情報 構造(主要建物)	鉄骨造			
建物情報 地上階数(主要建物)	2	うち所有面積	4,285.00	
建物情報 耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
建物情報 耐震工事(主要建物)	-	うち借地面積	29.50	
建物情報 建築年月日(主要建物)	2002/9/20			
建物情報 経過年数(主要建物)	21	代表地目(現況地目)	宅地	
用途地域	都市計画区域外			

区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	—	—	—
財源 国・県	—	—	—
財源 寄付金	—	—	—
財源 その他	—	—	—
財源 市債	—	—	—
財源 一般財源	—	—	—

特記事項 —

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	103	88	124
収入(千円)	国県支出金	0	0	0
収入(千円)	その他収入	7	11	8
収入(千円)	収入計(A)	110	99	132
支出(千円)	人件費	13,400	14,200	14,200
支出(千円)	物件費(委託料)	2,097	2,162	2,116
支出(千円)	維持補修費(修繕費)	2,353	457	1,719
支出(千円)	物件費(光熱水費)	1,259	1,522	1,177
支出(千円)	物件費(借地料)	4	4	4
支出(千円)	支出計(B)	19,113	18,345	19,216
行政コスト(B－A)		19,003	18,246	19,084
収支前年比		104.15	95.61	103.86
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		4,973	4,973	4,973
利用状況	利用コマ数/年	806	714	917
利用状況	利用可能コマ数/年	28,080	27,758	23,195
利用状況	施設利用者数/年	4,895	4,098	2,984
利用状況	開館日数/年	359	359	359
利用状況	施設定員数	—	—	—
利用状況	図書貸出冊数/年	—	—	—
利用状況	蔵書数	—	—	—
利用状況	入居戸数	—	—	—
利用状況	全戸数	—	—	—
利用状況	クラス数	—	—	—
利用状況	生徒数	—	—	—

BS情報

有形固定資産(千円)		
土地	建物	その他
11,039	79,746	—

主な改修履歴

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設

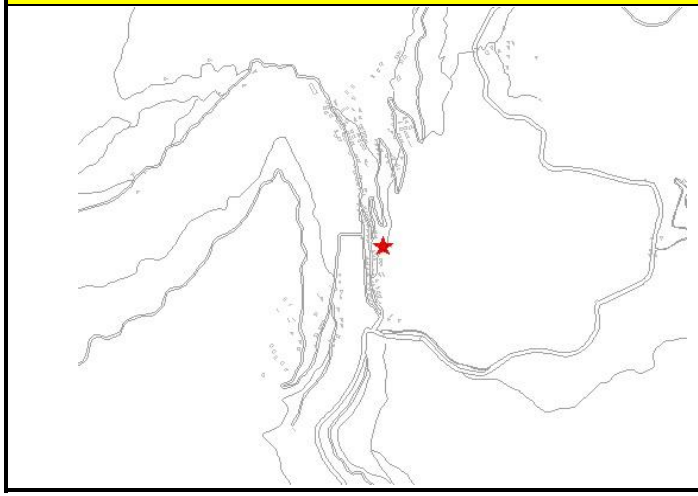
同分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)

その他の分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)
13-081	山香団地	地域	0.0
22-013	浜松市国民健康保険佐久間病院附属山香診療所	生活	0.1
14-137	佐久間第2分団舟戸	コミュニティ	0.3

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-065	施設コード	04530	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
施設名	山香ふれあいセンター				施設	天竜区・佐久間支所
人員数	正規職員（人）	1	会計年度任用職員（人）	1	再任用（人）	1
複合施設	—					

施設運営分析

関連政策名：市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

生涯学習の推進及び中山間地域の振興を図ることを目的として設置する。

主な業務内容	貸館業務・自主事業（講座等の企画・開催）・中山間地域の振興
主な利用者	地域活動団体（4団体）　自治会　ボランティア団体等

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	利用者の高齢化が進んでおり、ニーズ的には減少する可能性がある。
特記事項	地域コミュニティの維持及び生涯学習の拠点として必要不可欠な施設である。

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	ふれあい交流事業（子ども講座）：1回開催 地区のシニアクラブ会員を講師に、市立佐久間小学校全児童・生徒を対象に蕎麦打ち体験を実施し、世代間の交流を図る。	2023	62	51	51
		2022	62	50	50
		2021	60	60	50
事業②	地域文化セミナー（6回） パン作り講座（3回）　ドローン講座（2回）　ポーセラーツ体験講座（1回）	2023	50	65	36
		2022	40	80	63
		2021	103	90	70
事業③	山香ふれあいセンターまつり(文化展の実施)：1回4日間開催	2023	—	—	178
		2022	—	—	331
		2021	—	—	44
事業④	アクティブシニア講座（4回） LINE活用講座（1回）　スマホ相談会（4回）	2023	—	19	19
		2022	—	21	21
		2021	—	—	—

施設に関する課題等（ハード面から）

課題

平成14年度新設から21年経過し、施設設備の老朽化が進んでいる。特に経年劣化による空調設備等に不具合が出てきており、その都度修繕を行っているが今後も多く修繕箇所の発生が考えられる。

対応策

施設の現状を維持できるよう、定期的な点検、修繕を行う。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

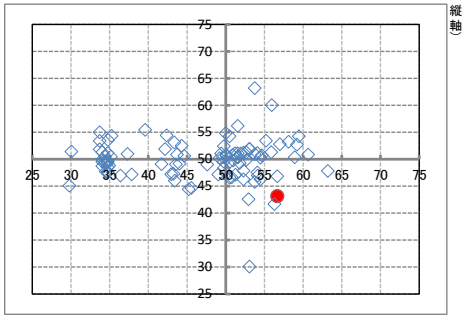
民活導入

地域性等を考慮し、現行どおりの管理、運営を行っていく。

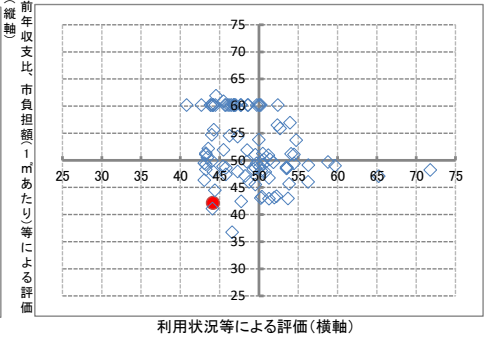
参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	28,239	27,114	28,359	1人当たりのコスト（円）	3,882	4,452	6,395
施設利用率（%）	2.9	2.6	4.0	1開館日当たりのコスト（円）	52,933	50,825	53,159
1日当たり利用者（人）	14	11	8	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	—	—
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考（公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋）

利用者の圏域毎の方向性

地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。

施設カルテ　2024

リストNo	03-066	施設コード	04531		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	浦川ふれあいセンター				
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町浦川2794-1				
利用者の圏域別分類等	生活	中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課 本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名	嶋津　裕亮		
所管課 施設	天竜区・佐久間支所	課長名	高氏　淳		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市行政センター、支所、協働センター及びふれあいセンター条例				
設置目的	生涯学習の推進及び中山間地域の振興を図ることを目的として設置する。				
主な利用者	地域活動団体(21団体)、自治会、ボランティア団体等				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00 ～ 21:30				

建物情報		土地情報		
総延床面積	655.32	土地面積		3,896.00
構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	うち所有面積		3,896.00
地上階数(主要建物)	4	うち借地面積		0.00
耐震性能(Is値)(主要建物)	0.82	代表地目(現況地目)		学校用地
耐震工事(主要建物)	有			
建築年月日(主要建物)	1971/3/5			
経過年数(主要建物)	53			

用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	—	—	—
財源 国・県	—	—	—
財源 寄付金	—	—	—
財源 その他	—	—	—
財源 市債	—	—	—
財源 一般財源	—	—	—
特記事項	—		

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	143	140	117
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	33	12	13
	収入計(A)	176	152	130
支出(千円)	人件費	14,200	14,200	14,200
	物件費(委託料)	1,299	1,314	1,297
	維持補修費(修繕費)	172	298	75
	物件費(光熱水費)	880	945	836
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	16,551	16,757	16,408
行政コスト(B－A)		16,375	16,605	16,278
収支前年比		98.61	102.01	99.95
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		9	9	9
利用状況	利用コマ数/年	1,255	1,304	869
	利用可能コマ数/年	22,938	22,948	22,521
	施設利用者数/年	5,571	6,014	6,640
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—

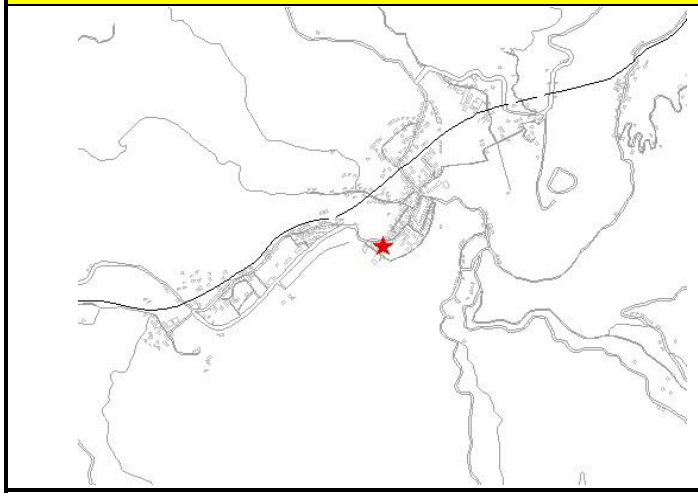
BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	11,638	184	—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設

同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
その他の分類	08-075	浦川幼稚園	生活	0.1
	13-078	浦川団地	地域	0.1
	15-085	浦川小学校	生活	0.4
	26-027	上市場農業集落排水処理施設	—	0.4
	14-134	佐久間第1分団柏古瀬	コミュニティ	0.5
	05-031	佐久間瞑想館	地域	0.6
	22-012	浜松市国民健康保険佐久間病院附属浦川診療所	生活	0.6
	26-023	浦川浄化センター	—	0.7

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-066	施設コード	04531	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
施設名	浦川ふれあいセンター				施設	天竜区・佐久間支所
人員数	正規職員（人）	1	会計年度任用職員（人）	—	再任用（人）	2
複合施設	—					

施設運営分析

関連政策名：市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

生涯学習の推進及び中山間地域の振興を図ることを目的として設置する。

主な業務内容	貸館業務・自主事業（講座等の企画・開催）・中山間地域の振興
主な利用者	地域活動団体（21団体）、自治会、ボランティア団体等

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	地域の高齢化が進んでおり利用者の減少は予想されるが、ニーズはある。
特記事項	地域コミュニティの維持及び生涯学習の拠点として必要不可欠な施設である。

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	カルチャー教室（地域文化セミナー） 手作り味噌講座（1回）、マクラメ編み講座（5回）、クラフトバンド講座（4回）	2023	—	130	108
		2022	—	224	239
		2021	—	25	56
事業②	子ども講座 料理教室（2回）、けん玉教室（1回）	2023	—	33	21
		2022	—	32	23
		2021	—	36	30
事業③	アクティブ・シニア講座 スマホ相談会（4回）、LINE活用講座（1回）	2023	—	44	31
		2022	—	44	64
		2021	—	24	85
事業④	地域ふれあいフェスタ、浜松市と大学連携事業 作品展（1回・6日間）、芸能発表会（1回・1日）、理科工作教室（1回）	2023	—	22	125
		2022	—	72	286
		2021	—	34	170

施設に関する課題等（ハード面から）

施設所管課・本庁所管課　記入欄

課題

平成23年度に元浦川中学校校舎の一階部分を全面改築している。
経年劣化による不具合の発生はあるが、その都度修繕しており、機能的な問題はない。

対応策

施設の現状を維持できるよう、定期的な点検、修繕を行う。

資産の見直し

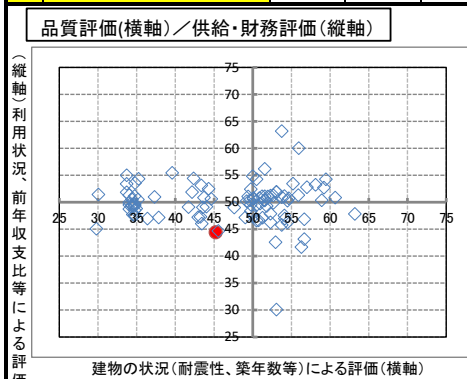
方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

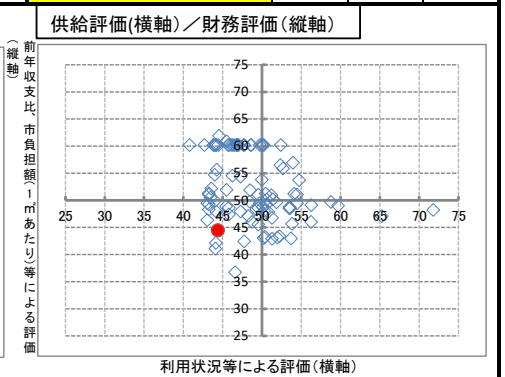
民活導入

地域性等を考慮し、現行どおりの管理、運営を行っていく。

参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	24,988	25,339	24,840	1人当たりのコスト（円）	2,939	2,761	2,452
施設利用率（%）	5.5	5.7	3.9	1開館日当たりのコスト（円）	45,613	46,253	45,343
1日当たり利用者（人）	16	17	18	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	—	—
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—





※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考（公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋）

利用者の圏域毎の方向性

地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	（1）維持管理	—	（2）改修・更新時	—	（3）その他	—

住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。

施設カルテ　2024

リストNo	03-067	施設コード	00152		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	葵が丘会館				
所在(町名・番地)	中央区高丘東五丁目1-1				
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課 本庁	市民部創造都市・文化振興課　生涯学習担当	課長名	加藤　元一		
所管課 施設	中央区・まちづくり推進課	課長名	宮崎　幹啓		
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律				
条例	浜松市学習等供用施設条例				
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。				
主な利用者	地域住民				
運営形態	施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00 ～ 21:00				

建物情報		土地情報		
総延床面積	511.55	土地面積		953.62
構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	うち所有面積		953.62
地上階数(主要建物)	2	うち借地面積		0.00
耐震性能(Is値)(主要建物)	新	代表地目(現況地目)		宅地
耐震工事(主要建物)	－			
建築年月日(主要建物)	1992/3/31			
経過年数(主要建物)	32			

用途地域	第一種住居地域

区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	—	—	—
財源 国・県	—	—	—
財源 寄付金	—	—	—
財源 その他	—	—	—
財源 市債	—	—	—
財源 一般財源	—	—	—

特記事項	—

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3	3	3
	収入計(A)	3	3	3
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B－A)		−3	−3	−3
収支前年比		100.00	100.00	100.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		3,894	3,894	3,894
利用状況	利用コマ数/年	448	655	604
	利用可能コマ数/年	3,660	3,648	3,624
	施設利用者数/年	8,545	10,371	8,517
	開館日数/年	305	304	302
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—

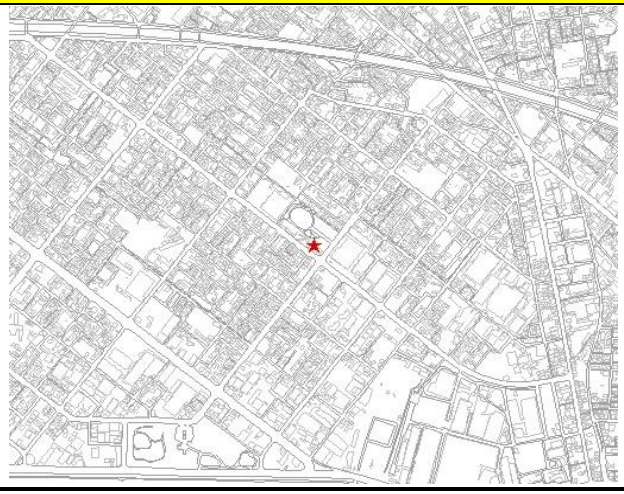
BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	70,720	52,396	—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2019	令和元年度　葵が丘会館空調設備更新工事	7,102			

近隣施設

同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	03-027	北部協働センター	生活	0.8
	03-076	高丘北会館	コミュニティ	0.8
	03-071	瑞穂会館	コミュニティ	1.1
	03-068	葵西会館	コミュニティ	1.1
	03-098	三方原会館	コミュニティ	1.7
その他の分類	07-079	あおぞら放課後児童会	生活	0.4
	15-011	葵が丘小学校	生活	0.4
	15-102	開成中学校	生活	0.5
	01-030	北部市民サービスセンター	生活	0.7
	06-005	北図書館	地域	0.8
	15-012	葵西小学校	生活	0.9
	07-005	葵西放課後児童会	生活	0.9
	13-004	高丘団地	地域	1.0

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-067	施設コード	00152	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課　生涯学習担当
施設名	葵が丘会館				施設	中央区・まちづくり推進課
人員数	正規職員（人）	—	会計年度任用職員（人）	—	再任用（人）	—
複合施設	—					

施設運営分析

関連政策名：生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。

主な業務内容	貸館業務
主な利用者	地域住民

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。
特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業②	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業③	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業④	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—

施設に関する課題等（ハード面から）

施設所管課・本庁所管課　記入欄

課題

建築から30年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。

対応策

地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

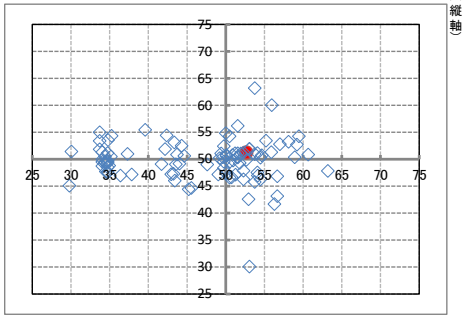
民活導入

—

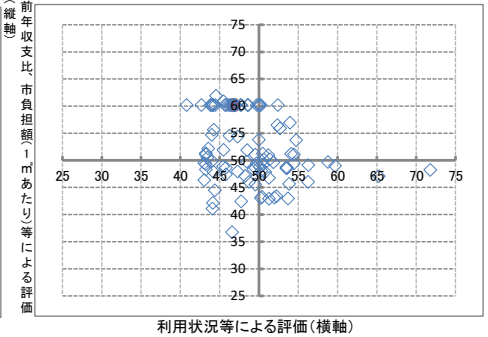
参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	−6	−6	−6	1人当たりのコスト（円）	0	0	0
施設利用率（%）	12.2	18.0	16.7	1開館日当たりのコスト（円）	−10	−10	−10
1日当たり利用者（人）	28	34	28	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	—	—
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考　公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋

利用者の圏域毎の方向性

他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	（1）維持管理	—	（2）改修・更新時	—	（3）その他	—

当面適切な維持管理に努める。

施設カルテ　2024

リストNo	03-068	施設コード	00159		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	葵西会館				
所在(町名・番地)	中央区葵西二丁目18-18				
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課 本庁	市民部創造都市・文化振興課　生涯学習担当	課長名	加藤　元一		
所管課 施設	中央区・まちづくり推進課	課長名	宮崎　幹啓		
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律				
条例	浜松市学習等供用施設条例				
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。				
主な利用者	地域住民				
運営形態	施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00 ～ 21:00				

建物情報		土地情報		
総延床面積	522.00	土地面積		863.68
構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	うち所有面積		863.68
地上階数(主要建物)	2	うち借地面積		0.00
耐震性能(Is値)(主要建物)	新	代表地目(現況地目)		官公庁用地
耐震工事(主要建物)	-			
建築年月日(主要建物)	1985/3/25			
経過年数(主要建物)	39			
用途地域	第一種住居地域			

区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費		—	—	—
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

特記事項　—

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3	66	66
	収入計(A)	3	66	66
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B－A)		-3	-66	-66
収支前年比		4.55	100.00	101.54
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		3,533	3,533	3,533
利用状況	利用コマ数/年	382	295	189
	利用可能コマ数/年	2,691	2,709	2,817
	施設利用者数/年	7,182	4,773	2,911
	開館日数/年	299	301	313
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—

BS情報

有形固定資産(千円)		
土地	建物	その他
50,987	22,805	—

主な改修履歴

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2018	葵西会館外壁及び屋上防水改修工事	8,897			
2014	トイレ改修工事	4,482			

近隣施設

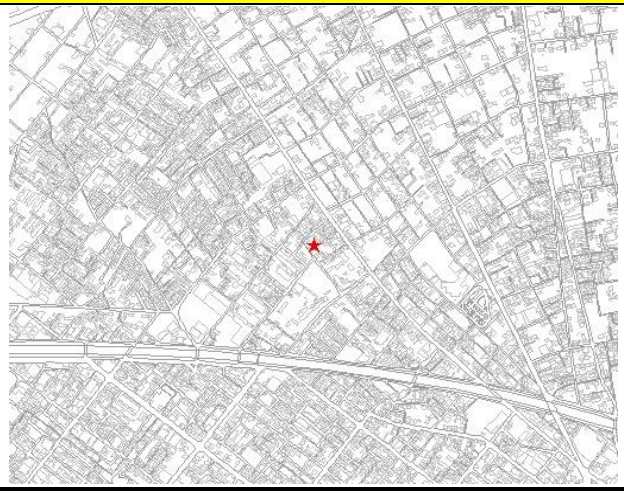
同分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-098	三方原会館	コミュニティ	0.6
03-076	高丘北会館	コミュニティ	0.9
03-067	葵が丘会館	コミュニティ	1.1
03-071	瑞穂会館	コミュニティ	1.4
03-050	三方原協働センター	生活	1.6
03-027	北部協働センター	生活	1.7

その他の分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)
13-003	葵西二丁目団地	地域	0.1
15-012	葵西小学校	生活	0.2
07-005	葵西放課後児童会	生活	0.2
15-133	北星中学校	生活	0.5
08-050	三方原幼稚園	生活	0.5
13-002	葵西四丁目団地	地域	0.7
13-004	高丘団地	地域	0.8
13-021	高丘団地再開発住宅	地域	0.9

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-068	施設コード	00159	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課　生涯学習担当
施設名	葵西会館				施設	中央区・まちづくり推進課
人員数	正規職員（人）	—	会計年度任用職員（人）	—	再任用（人）	—
複合施設	—					

施設運営分析

関連政策名：生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。

主な業務内容	貸館業務
主な利用者	地域住民

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。
特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業②	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業③	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業④	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—

施設に関する課題等（ハード面から）

施設所管課・本庁所管課　記入欄

課題

建築から35年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。

対応策

地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

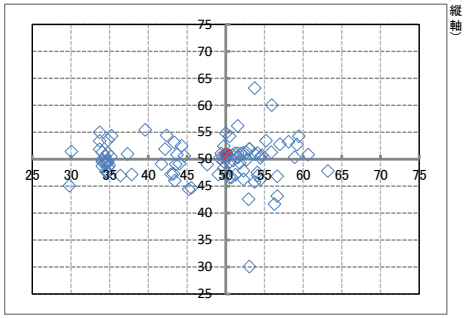
民活導入

—

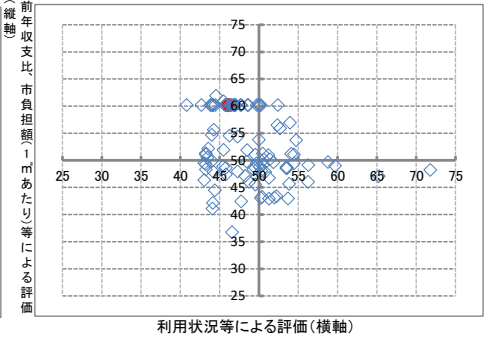
参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	−6	−126	−126	1人当たりのコスト（円）	0	−14	−23
施設利用率（%）	14.2	10.9	6.7	1開館日当たりのコスト（円）	−10	−219	−211
1日当たり利用者（人）	24	16	9	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	—	—
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考　公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋

利用者の圏域毎の方向性

他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	（1）維持管理	—	（2）改修・更新時	—	（3）その他	—

当面適切な維持管理に努める。

施設カルテ　　2024

リストNo	03-069	施設コード	00605
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	金屋会館		
所在(町名・番地)	中央区曳馬一丁目21-47		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設

所管課				
本庁	市民部創造都市・文化振興課　生涯学習担当	課長名	加藤　元一
施設	中央区・まちづくり推進課	課長名	宮崎　幹啓

設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律
条例	浜松市学習等供用施設条例
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。
主な利用者	地域住民
運営形態	施設包括管理委託
指定管理または包括管理委託等の期間	～
管理者名	—
開館時間	9:00 ～ 21:30

建物情報		土地情報		
総延床面積	189.24	土地面積		0.00
構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			
地上階数(主要建物)	2	うち所有面積		0.00
耐震性能(Is値)(主要建物)	0.89			
耐震工事(主要建物)	－	うち借地面積		0.00
建築年月日(主要建物)	1978/3/1			
経過年数(主要建物)	46	代表地目(現況地目)		

用途地域	第一種住居地域

区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費		—	—	—
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

特記事項	—

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3	0	0
	収入計(A)	3	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B－A)		-3	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		453	997	997
利用状況	利用コマ数/年	234	192	171
	利用可能コマ数/年	3,285	3,285	3,276
	施設利用者数/年	9,423	8,724	7,635
	開館日数/年	365	365	364
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—

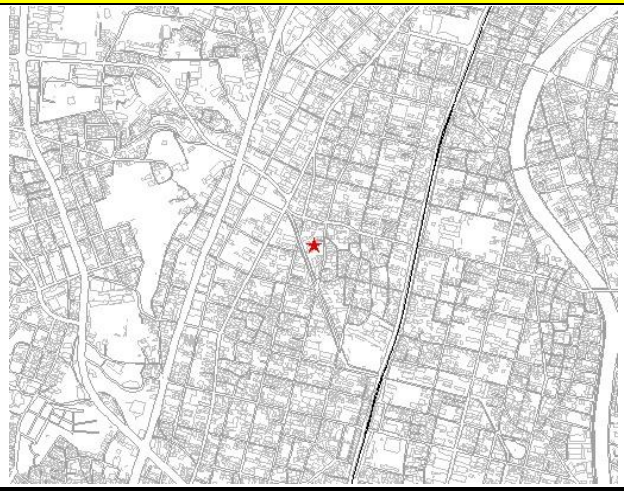
BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	0	0	—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設

同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	03-030	曳馬協働センター	生活	0.7
	03-070	幸町会館	コミュニティ	1.6
	03-007	男女共同参画・文化芸術活動推進センター(あいホール)	地域	1.6
	03-021	和地山公園集会所	生活	1.6
	03-024	高台協働センター	生活	1.7
	03-003	勤労青少年ホーム(アイミティ浜松)	市域	1.8
	03-006	勤労会館(Uホール)	地域	1.8
その他の分類	15-013	曳馬小学校	生活	0.3
	07-014	こうま放課後児童会	生活	0.3
	15-101	曳馬中学校	生活	0.4
	16-002	青少年の家	市域	0.5
	14-035	浜松第９分団	コミュニティ	0.6
	14-037	浜松第１１分団	コミュニティ	0.6
	11-010	家内労働福祉センター	地域	0.8
	07-003	かみじま放課後児童会	生活	0.8

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-069	施設コード	00605	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課　生涯学習担当
施設名	金屋会館				施設	中央区・まちづくり推進課
人員数	正規職員（人）	—	会計年度任用職員（人）	—	再任用（人）	—
複合施設	—					

施設運営分析

関連政策名：生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。

主な業務内容	貸館業務
主な利用者	地域住民

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。
特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業②	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業③	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業④	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—

施設に関する課題等（ハード面から）

施設所管課・本庁所管課　記入欄

課題

建築から45年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。

対応策

地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

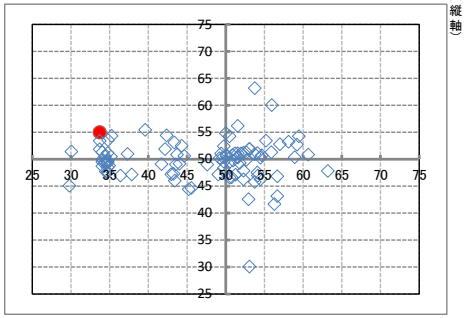
民活導入

—

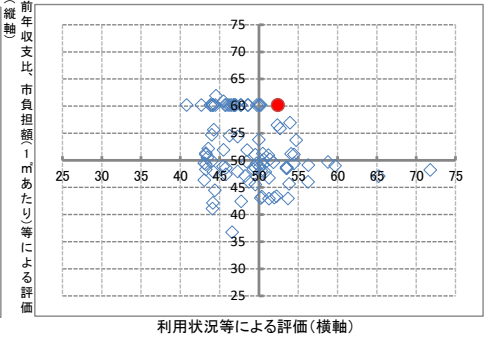
参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	−16	0	0	1人当たりのコスト（円）	0	0	0
施設利用率（%）	7.1	5.8	5.2	1開館日当たりのコスト（円）	−8	0	0
1日当たり利用者（人）	26	24	21	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	—	—
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考　公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋

利用者の圏域毎の方向性

他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	（1）維持管理	—	（2）改修・更新時	—	（3）その他	—

当面適切な維持管理に努める。

施設カルテ　　2024

リストNo	03-070	施設コード	00756
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	幸町会館		
所在(町名・番地)	中央区幸三丁目2-16		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設

所管課				
本庁	市民部創造都市・文化振興課　生涯学習担当	課長名	加藤　元一
施設	中央区・まちづくり推進課	課長名	宮崎　幹啓

設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律
条例	浜松市学習等供用施設条例
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。
主な利用者	地域住民
運営形態	施設包括管理委託
指定管理または包括管理委託等の期間	～
管理者名	—
開館時間	9:00 ～ 21:30

建物情報		土地情報		
総延床面積	371.71	土地面積		0.00
構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	うち所有面積		0.00
地上階数(主要建物)	3	うち借地面積		0.00
耐震性能(Is値)(主要建物)	1.27	代表地目(現況地目)		
耐震工事(主要建物)	有			
建築年月日(主要建物)	1969/3/1			
経過年数(主要建物)	55			

用途地域	第二種住居地域

区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費		—	—	—
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

特記事項	—

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3	0	0
	収入計(A)	3	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B－A)		-3	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	548	425	296
	利用可能コマ数/年	2,529	2,412	2,394
	施設利用者数/年	8,459	5,772	3,539
	開館日数/年	281	268	266
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—

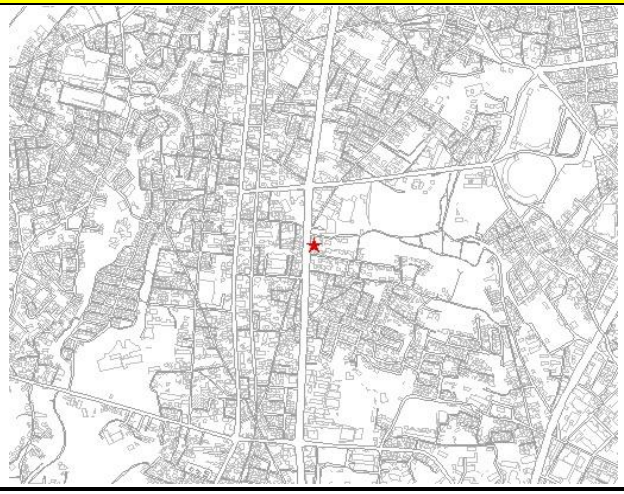
BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	0	0	—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2015	便所改修工事	4,178			

近隣施設

	No	施設名	圏域種別	距離(km)
同分類	03-007	男女共同参画・文化芸術活動推進センター(あいホール)	地域	0.1
	03-075	和泉会館	コミュニティ	0.5
	03-024	高台協働センター	生活	0.9
	03-072	馬生会館	コミュニティ	1.3
	03-021	和地山公園集会所	生活	1.5
	03-074	和合会館	コミュニティ	1.5
	03-069	金屋会館	コミュニティ	1.6
	03-027	北部協働センター	生活	1.8
その他の分類	14-008	中消防署高台出張所	地域	0.6
	15-020	泉小学校	生活	0.6
	07-077	たかだい放課後児童会	生活	0.6
	15-024	萩丘小学校	生活	0.6
	17-001	四ツ池公園	地域	0.7
	05-001	四ツ池公園陸上競技場	広域	0.7
	05-002	四ツ池公園浜松球場	広域	0.7
	14-036	浜松第10分団	コミュニティ	0.7

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-070	施設コード	00756	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課　生涯学習担当
施設名	幸町会館				施設	中央区・まちづくり推進課
人員数	正規職員（人）	—	会計年度任用職員（人）	—	再任用（人）	—
複合施設	—					

施設運営分析

関連政策名：生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。

主な業務内容	貸館業務
主な利用者	地域住民

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。
特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況	
				のべ募集人員	参加者数
事業①	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業②	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業③	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業④	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—

施設に関する課題等（ハード面から）

施設所管課・本庁所管課　記入欄

課題

建築から55年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。

対応策

地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

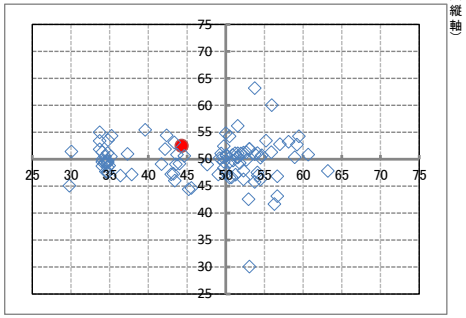
民活導入

—

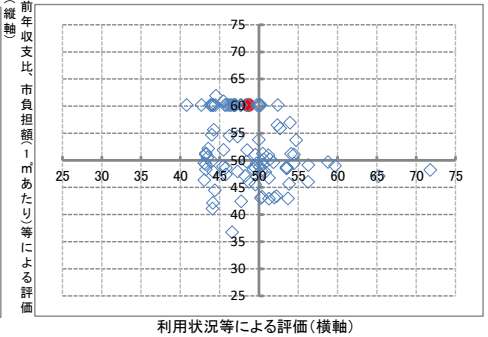
参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	-8	0	0	1人当たりのコスト（円）	0	0	0
施設利用率（%）	21.7	17.6	12.4	1開館日当たりのコスト（円）	-11	0	0
1日当たり利用者（人）	30	22	13	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	—	—
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考　公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋

利用者の圏域毎の方向性

他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	（1）維持管理	—	（2）改修・更新時	—	（3）その他	—

当面適切な維持管理に努める。

施設カルテ　2024

リストNo	03-071	施設コード	01516
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	瑞穂会館		
所在(町名・番地)	中央区高丘西二丁目34-1		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設

所管課				
本庁	市民部創造都市・文化振興課　生涯学習担当	課長名	加藤　元一
施設	中央区・まちづくり推進課	課長名	宮崎　幹啓

設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律
条例	浜松市学習等供用施設条例
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。
主な利用者	地域住民
運営形態	施設包括管理委託
指定管理または包括管理委託等の期間	～
管理者名	—
開館時間	9:00 ～ 21:00

建物情報		土地情報		
総延床面積	587.34	土地面積		920.95
構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			
地上階数(主要建物)	2	うち所有面積		920.95
耐震性能(Is値)(主要建物)	1.01			
耐震工事(主要建物)	－	うち借地面積		0.00
建築年月日(主要建物)	1981/3/1			
経過年数(主要建物)	43	代表地目(現況地目)		宅地

用途地域	第一種住居地域

区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費		—	—	—
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

特記事項	—

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3	0	0
	収入計(A)	3	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B－A)		-3	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,814	2,814	2,814
利用状況	利用コマ数/年	1,154	1,130	971
	利用可能コマ数/年	3,756	3,660	3,648
	施設利用者数/年	17,805	16,935	16,140
	開館日数/年	313	305	304
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—

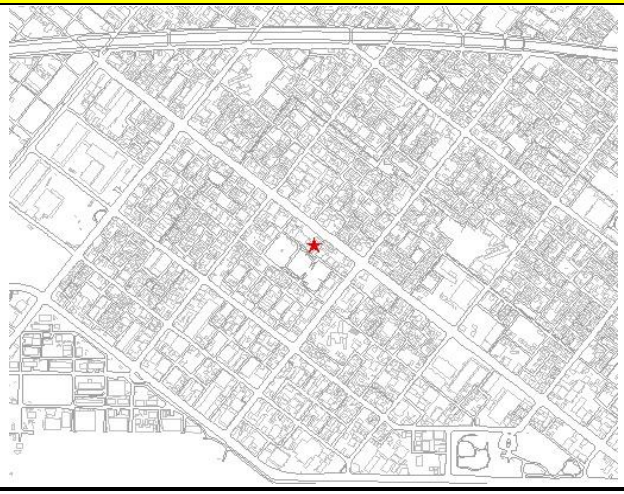
BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	61,069	6,907	—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設

同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	03-076	高丘北会館	コミュニティ	0.5
	03-067	葵が丘会館	コミュニティ	1.1
	03-068	葵西会館	コミュニティ	1.4
	03-027	北部協働センター	生活	1.8
	03-098	三方原会館	コミュニティ	1.8
その他の分類	01-029	高丘葵市民サービスセンター	生活	0.1
	13-021	高丘団地再開発住宅	地域	0.5
	13-004	高丘団地	地域	0.6
	07-017	みずほ放課後児童会	生活	0.6
	15-019	瑞穂小学校	生活	0.6
	15-102	開成中学校	生活	0.6
	05-008	北部水泳場	地域	0.8
	15-012	葵西小学校	生活	1.2

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-071	施設コード	01516	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課　生涯学習担当
施設名	瑞穂会館				施設	中央区・まちづくり推進課
人員数	正規職員（人）	—	会計年度任用職員（人）	—	再任用（人）	—
複合施設	—					

施設運営分析

関連政策名：生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。

主な業務内容	貸館業務
主な利用者	地域住民

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。
特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業②	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業③	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業④	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—

施設に関する課題等（ハード面から）

施設所管課・本庁所管課　記入欄

課題

建築から40年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。

対応策

地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

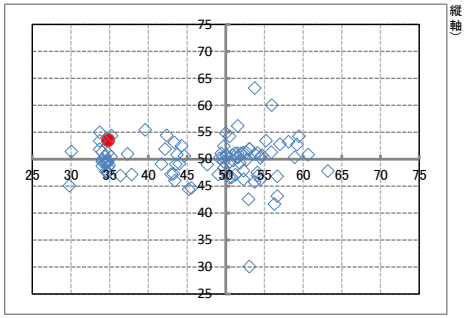
民活導入

—

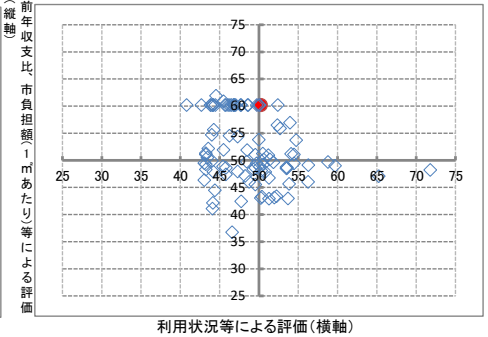
参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	-5	0	0	1人当たりのコスト（円）	0	0	0
施設利用率（%）	30.7	30.9	26.6	1開館日当たりのコスト（円）	-10	0	0
1日当たり利用者（人）	57	56	53	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	—	—
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考　公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋

利用者の圏域毎の方向性

他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

当面適切な維持管理に努める。

施設カルテ　2024

リストNo	03-072	施設コード	02220		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	馬生会館				
所在(町名・番地)	中央区和合町88-4				
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課 本庁	市民部創造都市・文化振興課　生涯学習担当	課長名	加藤　元一		
所管課 施設	中央区・まちづくり推進課	課長名	宮崎　幹啓		
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律				
条例	浜松市学習等供用施設条例				
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。				
主な利用者	地域住民				
運営形態	施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00 ～ 21:00				

建物情報		土地情報		
総延床面積	557.25	土地面積		0.00
構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	うち所有面積		0.00
地上階数(主要建物)	2	うち借地面積		0.00
耐震性能(Is値)(主要建物)	1.42	代表地目(現況地目)		
耐震工事(主要建物)	－			
建築年月日(主要建物)	1979/3/1			
経過年数(主要建物)	45			

用途地域	第一種中高層住居専用地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	—	—	—
財源 国・県	—	—	—
財源 寄付金	—	—	—
財源 その他	—	—	—
財源 市債	—	—	—
財源 一般財源	—	—	—
特記事項	—		

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3	0	0
	収入計(A)	3	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B－A)		-3	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		3,224	3,224	3,224
利用状況	利用コマ数/年	866	854	685
	利用可能コマ数/年	4,392	4,380	4,368
	施設利用者数/年	11,258	11,099	8,090
	開館日数/年	366	365	364
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—

BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	0	1,466	—

主な改修履歴

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設

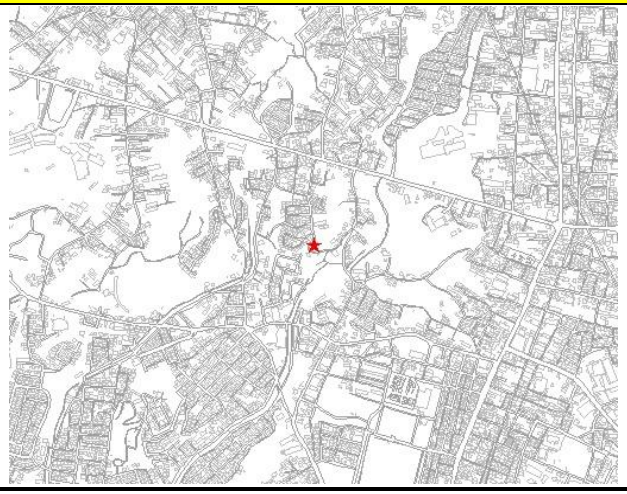
同分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-024	高台協働センター	生活	0.4
03-074	和合会館	コミュニティ	0.5
03-021	和地山公園集会所	生活	0.7
03-081	文丘集会所	コミュニティ	1.2
03-075	和泉会館	コミュニティ	1.3
03-070	幸町会館	コミュニティ	1.3
03-078	城北会館	コミュニティ	1.3
03-007	男女共同参画・文化芸術活動推進センター(あいホール)	地域	1.4

その他の分類

13-017	和合(馬生)団地	地域	0.5
22-002	浜松市リハビリテーション病院	広域	0.5
06-002	城北図書館	市域	0.6
13-016	和合(C1)団地	地域	0.7
08-003	権現谷保育園	生活	0.7
07-077	たかだい放課後児童会	生活	0.7
15-020	泉小学校	生活	0.7
13-009	住吉二丁目団地	地域	0.8

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-072	施設コード	02220	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課　生涯学習担当
施設名	馬生会館				施設	中央区・まちづくり推進課
人員数	正規職員（人）	—	会計年度任用職員（人）	—	再任用（人）	—
複合施設	—					

施設運営分析

関連政策名：生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。

主な業務内容	貸館業務
主な利用者	地域住民

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。
特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業②	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業③	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業④	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—

施設に関する課題等（ハード面から）

施設所管課・本庁所管課　記入欄

課題

建築から45年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。

対応策

地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

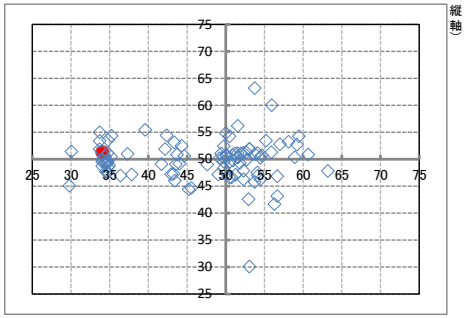
民活導入

—

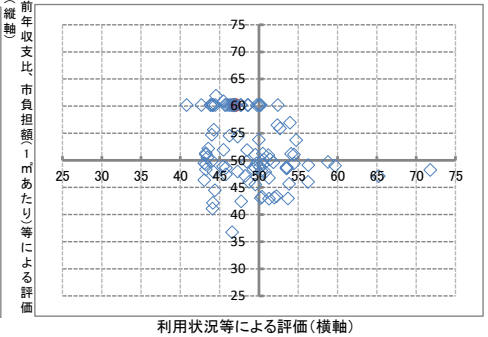
参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	−5	0	0	1人当たりのコスト（円）	0	0	0
施設利用率（%）	19.7	19.5	15.7	1開館日当たりのコスト（円）	−8	0	0
1日当たり利用者（人）	31	30	22	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	—	—
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考　公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋

利用者の圏域毎の方向性

他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	（1）維持管理	—	（2）改修・更新時	—	（3）その他	—

当面適切な維持管理に努める。

施設カルテ　　2024

リストNo	03-073	施設コード	02433
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	富塚西会館		
所在(町名・番地)	中央区富塚町2114-24		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課 本庁	市民部創造都市・文化振興課　生涯学習担当	課長名	加藤　元一
所管課 施設	中央区・まちづくり推進課	課長名	宮崎　幹啓
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律		
条例	浜松市学習等供用施設条例		
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。		
主な利用者	地域住民		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	9:00 ～ 21:00		

建物情報		土地情報		
総延床面積	511.43	土地面積		1,094.34
構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	うち所有面積		1,094.34
地上階数(主要建物)	1	うち借地面積		0.00
耐震性能(Is値)(主要建物)	新	代表地目(現況地目)		公園
耐震工事(主要建物)	－			
建築年月日(主要建物)	1999/3/1			
経過年数(主要建物)	25			

用途地域	第一種低層住居専用地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	—	—	—
財源 国・県	—	—	—
財源 寄付金	—	—	—
財源 その他	—	—	—
財源 市債	—	—	—
財源 一般財源	—	—	—
特記事項	—		

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3	0	0
	収入計(A)	3	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B－A)		-3	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		3,870	3,870	3,870
利用状況	利用コマ数/年	1,678	1,364	1,084
	利用可能コマ数/年	5,400	5,385	5,370
	施設利用者数/年	17,811	14,723	15,634
	開館日数/年	360	359	358
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—

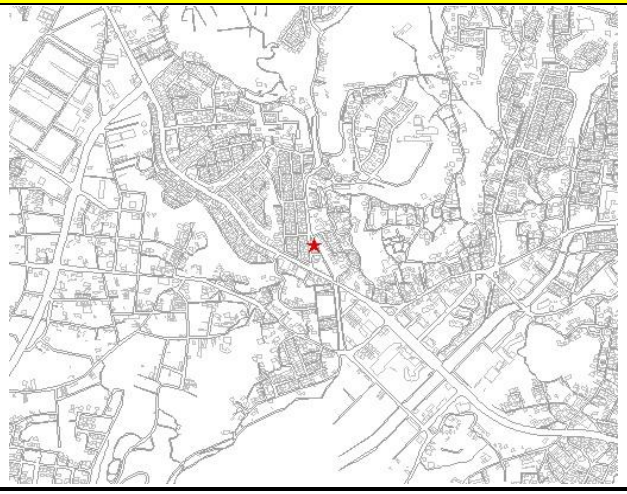
BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	40,244	79,169	—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2023	富塚西会館空調設備工事	4,600			
	2018	富塚西会館改修工事	26,054			

近隣施設

	No	施設名	圏域種別	距離(km)
同分類	03-023	富塚協働センター	生活	0.7
	03-082	富塚椎ノ木谷特別緑地保全地区	コミュニティ	1.2
	03-081	文丘集会所	コミュニティ	1.7
	03-078	城北会館	コミュニティ	1.8
	03-074	和合会館	コミュニティ	1.8
	03-093	西山会館	コミュニティ	1.8
	03-072	馬生会館	コミュニティ	2.0
その他の分類	07-081	こりす・こりす第2放課後児童会	生活	0.4
	15-026	富塚西小学校	生活	0.5
	15-025	富塚小学校	生活	0.7
	07-068	とみつか放課後児童会	生活	0.7
	14-006	中消防署富塚出張所・浜松第8分団	地域	0.7
	15-107	富塚中学校	生活	0.7
	22-001	浜松医療センター	広域	1.1
	16-001	看護専門学校	市域	1.3

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-073	施設コード	02433	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課　生涯学習担当
施設名	富塚西会館				施設	中央区・まちづくり推進課
人員数	正規職員（人）	—	会計年度任用職員（人）	—	再任用（人）	—
複合施設	—					

施設運営分析

関連政策名：生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。

主な業務内容	貸館業務
主な利用者	地域住民

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。
特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業②	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業③	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業④	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—

施設に関する課題等（ハード面から）

施設所管課・本庁所管課　記入欄

課題

建築から25年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。

対応策

地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

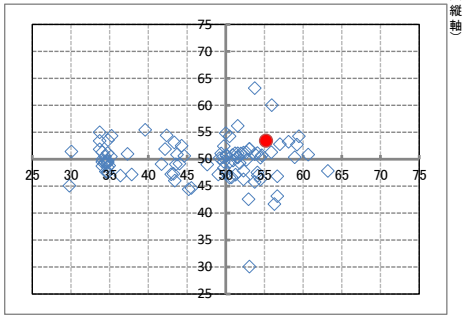
民活導入

—

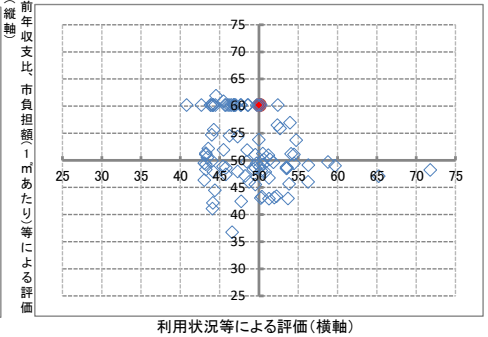
参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	-6	0	0	1人当たりのコスト（円）	0	0	0
施設利用率（%）	31.1	25.3	20.2	1開館日当たりのコスト（円）	-8	0	0
1日当たり利用者（人）	49	41	44	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	—	—
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考　公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋

利用者の圏域毎の方向性

他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	（1）維持管理	—	（2）改修・更新時	—	（3）その他	—

当面適切な維持管理に努める。

施設カルテ　　2024

リストNo	03-074	施設コード	02854		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	和合会館				
所在(町名・番地)	中央区和合町220-702				
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課 本庁	市民部創造都市・文化振興課　生涯学習担当	課長名	加藤　元一		
所管課 施設	中央区・まちづくり推進課	課長名	宮崎　幹啓		
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律				
条例	浜松市学習等供用施設条例				
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。				
主な利用者	地域住民				
運営形態	施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00 ～ 21:00				

建物情報		土地情報		
総延床面積	122.84	土地面積		0.00
構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	うち所有面積		0.00
地上階数(主要建物)	2	うち借地面積		0.00
耐震性能(Is値)(主要建物)	1.02	代表地目(現況地目)		
耐震工事(主要建物)	-			
建築年月日(主要建物)	1968/3/1			
経過年数(主要建物)	56			

用途地域	第一種低層住居専用地域

区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費		—	—	—
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

特記事項	—

収入(千円)	項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3	0	0
	収入計(A)	3	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B－A)		-3	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	237	209	186
	利用可能コマ数/年	1,098	1,095	1,092
	施設利用者数/年	2,857	2,270	1,671
	開館日数/年	365	365	364
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—

BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	0	0	—

主な改修履歴

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設

同分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-072	馬生会館	コミュニティ	0.5
03-024	高台協働センター	生活	0.8
03-021	和地山公園集会所	生活	1.1
03-082	富塚椎ノ木谷特別緑地保全地区	コミュニティ	1.1
03-075	和泉会館	コミュニティ	1.4
03-023	富塚協働センター	生活	1.5
03-081	文丘集会所	コミュニティ	1.5
03-070	幸町会館	コミュニティ	1.5

その他の分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)
13-016	和合(C1)団地	地域	0.2
12-002	公営競技場	広域	0.6
08-003	権現谷保育園	生活	0.6
22-002	浜松市リハビリテーション病院	広域	0.8
13-017	和合(馬生)団地	地域	0.8
07-077	たかだい放課後児童会	生活	1.0
15-020	泉小学校	生活	1.0
06-002	城北図書館	市域	1.1

施設周辺地図情報

施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-074	施設コード	02854	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課　生涯学習担当
施設名	和合会館				施設	中央区・まちづくり推進課
人員数	正規職員（人）	—	会計年度任用職員（人）	—	再任用（人）	—
複合施設	—					

施設運営分析

関連政策名：生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。

主な業務内容	貸館業務
主な利用者	地域住民

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。
特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業②	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業③	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業④	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—

施設に関する課題等（ハード面から）

施設所管課・本庁所管課　記入欄

課題

建築から55年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。

対応策

地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

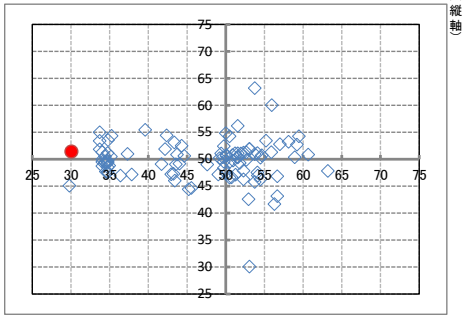
民活導入

—

参考指標

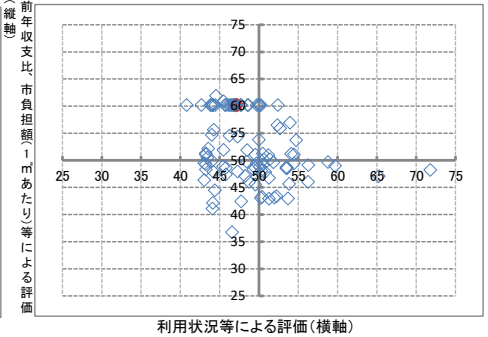
項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	−24	0	0	1人当たりのコスト（円）	−1	0	0
施設利用率（%）	21.6	19.1	17.0	1開館日当たりのコスト（円）	−8	0	0
1日当たり利用者（人）	8	6	5	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	—	—
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



建物の状況（耐震性、築年数等）による評価（横軸）

供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



利用状況等による評価（横軸）

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考　公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋

利用者の圏域毎の方向性

他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	（1）維持管理	—	（2）改修・更新時	—	（3）その他	—

当面適切な維持管理に努める。

施設カルテ　　2024

リストNo	03-075	施設コード	02861
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	和泉会館		
所在(町名・番地)	中央区泉二丁目6-3		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設

所管課				
本庁	市民部創造都市・文化振興課　生涯学習担当	課長名	加藤　元一
施設	中央区・まちづくり推進課	課長名	宮崎　幹啓

設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律
条例	浜松市学習等供用施設条例
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。
主な利用者	地域住民
運営形態	施設包括管理委託
指定管理または包括管理委託等の期間	～
管理者名	—
開館時間	9:00 ～ 21:30

建物情報		土地情報		
総延床面積	551.88	土地面積		0.00
構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	うち所有面積		0.00
地上階数(主要建物)	3	うち借地面積		0.00
耐震性能(Is値)(主要建物)	1.33	代表地目(現況地目)		
耐震工事(主要建物)	有			
建築年月日(主要建物)	1969/8/1			
経過年数(主要建物)	54			

用途地域	第一種中高層住居専用地域

区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費		—	—	—
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

特記事項	—

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3	0	0
	収入計(A)	3	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B－A)		-3	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	632	513	256
	利用可能コマ数/年	4,605	4,575	4,545
	施設利用者数/年	7,107	6,492	2,341
	開館日数/年	307	305	303
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—

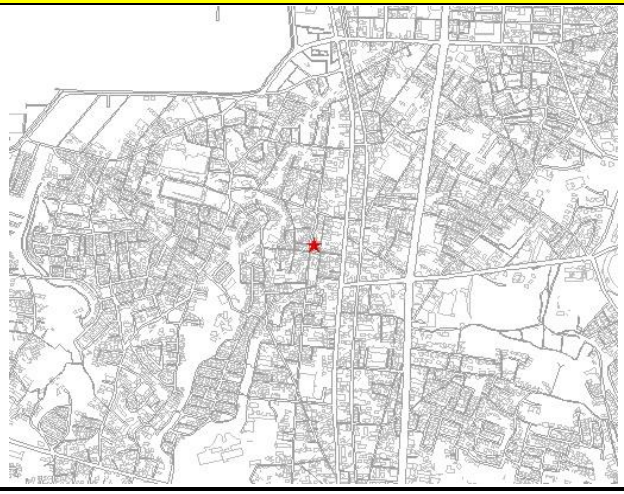
BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	0	0	—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設

同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	03-070	幸町会館	コミュニティ	0.5
	03-007	男女共同参画・文化芸術活動推進センター(あいホール)	地域	0.5
	03-024	高台協働センター	生活	1.0
	03-072	馬生会館	コミュニティ	1.3
	03-074	和合会館	コミュニティ	1.4
	03-027	北部協働センター	生活	1.5
	03-021	和地山公園集会所	生活	1.7
その他の分類	14-036	浜松第10分団	コミュニティ	0.4
	15-024	萩丘小学校	生活	0.4
	07-077	たかだい放課後児童会	生活	0.6
	15-020	泉小学校	生活	0.6
	22-002	浜松市リハビリテーション病院	広域	0.8
	14-008	中消防署高台出張所	地域	0.8
	13-012	萩丘団地	地域	0.9
	05-001	四ツ池公園陸上競技場	広域	1.0

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-075	施設コード	02861	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課　生涯学習担当
施設名	和泉会館				施設	中央区・まちづくり推進課
人員数	正規職員（人）	—	会計年度任用職員（人）	—	再任用（人）	—
複合施設	—					

施設運営分析

関連政策名：生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。

主な業務内容	貸館業務
主な利用者	地域住民

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。
特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業②	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業③	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業④	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—

施設に関する課題等（ハード面から）

施設所管課・本庁所管課　記入欄

課題

建築から50年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。

対応策

地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

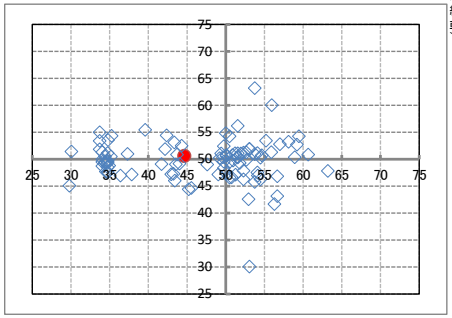
民活導入

—

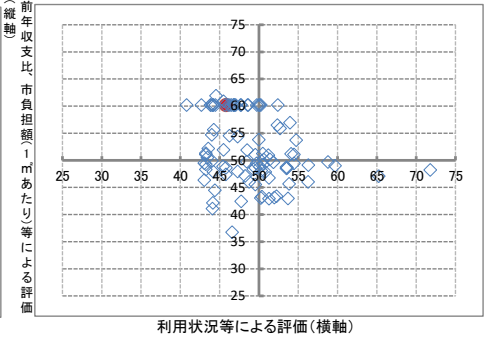
参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	-5	0	0	1人当たりのコスト（円）	0	0	0
施設利用率（%）	13.7	11.2	5.6	1開館日当たりのコスト（円）	-10	0	0
1日当たり利用者（人）	23	21	8	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	—	—
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考　公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋

利用者の圏域毎の方向性

他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	（1）維持管理	—	（2）改修・更新時	—	（3）その他	—

当面適切な維持管理に努める。

施設カルテ　2024

リストNo	03-076	施設コード	02971
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	高丘北会館		
所在(町名・番地)	中央区高丘北二丁目29-46		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設

所管課				
本庁	市民部創造都市・文化振興課　生涯学習担当	課長名	加藤　元一
施設	中央区・まちづくり推進課	課長名	宮崎　幹啓

設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律
条例	浜松市学習等供用施設条例
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。
主な利用者	地域住民
運営形態	施設包括管理委託
指定管理または包括管理委託等の期間	～
管理者名	—
開館時間	9:00 ～ 21:00

建物情報		土地情報		
総延床面積	539.83	土地面積		985.00
構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	うち所有面積		985.00
地上階数(主要建物)	2			
耐震性能(Is値)(主要建物)	新	うち借地面積		0.00
耐震工事(主要建物)	－			
建築年月日(主要建物)	2007/3/9	代表地目(現況地目)		宅地
経過年数(主要建物)	17			

用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	—	—	—
財源 国・県	—	—	—
財源 寄付金	—	—	—
財源 その他	—	—	—
財源 市債	—	—	—
財源 一般財源	—	—	—

特記事項	—

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3	2	2
	収入計(A)	3	2	2
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B－A)		−3	−2	−2
収支前年比		150.00	100.00	100.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,643	2,643	2,643
利用状況	利用コマ数/年	739	693	569
	利用可能コマ数/年	3,480	3,570	3,636
	施設利用者数/年	14,349	13,244	10,665
	開館日数/年	290	303	303
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—

BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	73,932	75,193	—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2006	施設新築工事(建築工事)	80,640			
	2006	施設新築工事(機械設備工事)	19,526			
	2006	施設新築工事(電気設備工事)	11,865			

近隣施設

同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	03-071	瑞穂会館	コミュニティ	0.5
	03-067	葵が丘会館	コミュニティ	0.8
	03-068	葵西会館	コミュニティ	0.9
	03-098	三方原会館	コミュニティ	1.4
	03-027	北部協働センター	生活	1.6
その他の分類	13-004	高丘団地	地域	0.2
	13-021	高丘団地再開発住宅	地域	0.2
	15-102	開成中学校	生活	0.5
	01-029	高丘葵市民サービスセンター	生活	0.5
	15-019	瑞穂小学校	生活	0.6
	07-017	みずほ放課後児童会	生活	0.6
	07-005	葵西放課後児童会	生活	0.7
	15-012	葵西小学校	生活	0.7

施設周辺地図情報

施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-076	施設コード	02971	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課　生涯学習担当
施設名	高丘北会館				施設	中央区・まちづくり推進課
人員数	正規職員（人）	—	会計年度任用職員（人）	—	再任用（人）	—
複合施設	—					

施設運営分析

関連政策名：生涯学習を享受できる機会の充実

設置の妥当性

設置目的（再掲）

防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。

主な業務内容	貸館業務
主な利用者	地域住民

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。
特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業②	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業③	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業④	—	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—

施設に関する課題等（ハード面から）

施設所管課・本庁所管課　記入欄

課題

建築から15年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。

対応策

地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

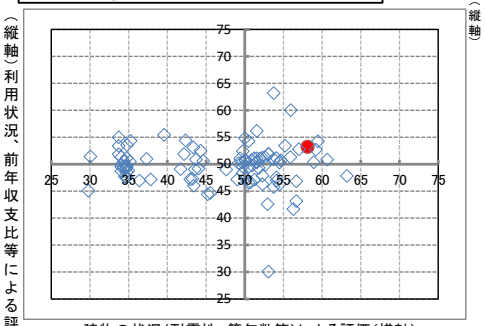
民活導入

—

参考指標

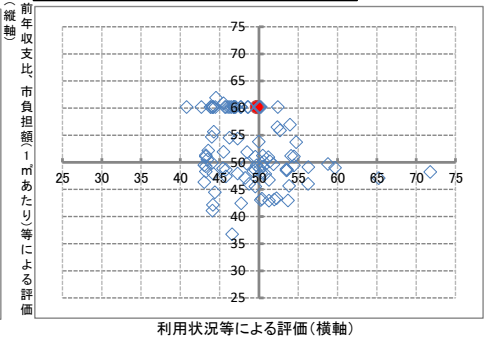
項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	−6	−4	−4	1人当たりのコスト（円）	0	0	0
施設利用率（%）	21.2	19.4	15.6	1開館日当たりのコスト（円）	−10	−7	−7
1日当たり利用者（人）	49	44	35	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	—	—
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



建物の状況（耐震性、築年数等）による評価（横軸）

供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



利用状況等による評価（横軸）

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考　公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋

利用者の圏域毎の方向性

他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	（1）維持管理	—	（2）改修・更新時	—	（3）その他	—

当面適切な維持管理に努める。

施設カルテ　　2024

リストNo	03-077	施設コード	00777		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	江東会館				
所在(町名・番地)	中央区富吉町3-3				
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課 本庁	健康福祉部福祉総務課	課長名	前嶋　卓志		
所管課 施設	健康福祉部中央福祉事業所・社会福祉課	課長名	夏目　健一		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市福祉館条例				
設置目的	近隣住民の福祉の向上、交流の拠点となるコミュニティーセンターとして、地域住民のニーズに応えるべく、各種事業の開催や地域に開かれた施設として運営し、自ら学ぶ意欲に満ちた心豊かで心身共に健やかな人間育成に寄与する。				
主な利用者	近隣住民・各種講座利用者				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00 ～ 21:30				
建物情報 総延床面積	504.25	土地情報 土地面積	1,044.01		
建物情報 構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	うち所有面積	1,044.01		
建物情報 地上階数(主要建物)	2				
建物情報 耐震性能(Is値)(主要建物)	0.91	うち借地面積	0.00		
建物情報 耐震工事(主要建物)	-				
建物情報 建築年月日(主要建物)	1980/4/1				
建物情報 経過年数(主要建物)	44	代表地目(現況地目)	官公庁用地		
用途地域	第一種住居地域				

区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費		—	—	—
財源	国・県	—	—	—
財源	寄付金	—	—	—
財源	その他	—	—	—
財源	市債	—	—	—
財源	一般財源	—	—	—

特記事項　—

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	124	131	108
収入(千円)	国県支出金	4,843	4,843	4,777
収入(千円)	その他収入	9	9	5
収入(千円)	収入計(A)	4,976	4,983	4,890
支出(千円)	人件費	10,000	10,000	10,000
支出(千円)	物件費(委託料)	322	334	349
支出(千円)	維持補修費(修繕費)	321	417	535
支出(千円)	物件費(光熱水費)	668	746	1,052
支出(千円)	物件費(借地料)	0	0	0
支出(千円)	支出計(B)	11,311	11,497	11,936
行政コスト(B－A)		6,335	6,514	7,046
収支前年比		97.25	92.45	115.19
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,628	2,628	2,628
利用状況	利用コマ数/年	1,118	1,115	948
利用状況	利用可能コマ数/年	19,290	19,250	15,150
利用状況	施設利用者数/年	3,121	2,966	2,366
利用状況	開館日数/年	309	308	303
利用状況	施設定員数	—	—	—
利用状況	図書貸出冊数/年	—	—	—
利用状況	蔵書数	—	—	—
利用状況	入居戸数	—	—	—
利用状況	全戸数	—	—	—
利用状況	クラス数	—	—	—
利用状況	生徒数	—	—	—

BS情報

有形固定資産(千円)		
土地	建物	その他
81,943	12,511	—

主な改修履歴

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設

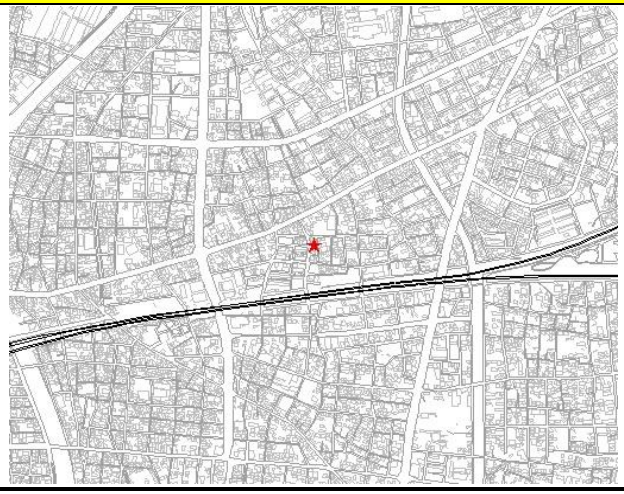
同分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-022	東部協働センター	生活	0.6
03-031	蒲協働センター	生活	0.8
03-003	勤労青少年ホーム(アイミティ浜松)	市域	1.1
03-001	アクトシティ浜松Aゾーン(大ホール・中ホール・コングレスセンター)	広域	1.7
03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	1.8
03-010	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)	地域	1.8

その他の分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)
13-022	富吉団地改良住宅	地域	0.0
14-007	中消防署相生出張所・浜松第7分団	地域	0.6
14-041	浜松第14分団	コミュニティ	0.7
07-075	さとう第2放課後児童会	生活	0.8
06-007	東図書館	地域	0.8
07-008	さとう放課後児童会	生活	0.8
15-003	佐藤小学校	生活	0.8
07-011	若竹第2放課後児童会	生活	0.9

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-077	施設コード	00777	所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課
施設名	江東会館				施設	健康福祉部中央福祉事業所・社会福祉課
人員数	正規職員（人）	—	会計年度任用職員（人）	1	再任用（人）	2
複合施設	—					

施設運営分析

関連政策名：すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる地域福祉の推進

設置の妥当性

設置目的（再掲）

近隣住民の福祉の向上、交流の拠点となるコミュニティーセンターとして、地域住民のニーズに応えるべく、各種事業の開催や地域に開かれた施設として運営し、自ら学ぶ意欲に満ちた心豊かで心身共に健やかな人間育成に寄与する。

主な業務内容	相談業務・貸館業務・各種講習会・啓発広報・会館まつり
主な利用者	近隣住民・各種講座利用者

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者がある
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	少子高齢化に伴い需要は減少していくと考えられる
特記事項	—

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	各種事業（無料）89回・延941人、各種事業（有料）896回・延2026人＜事業②～④分含む＞	2023	—	—	2,967
		2022	—	—	2,829
		2021	—	—	2,366
事業②	絵手紙講習会、茶道講習会、簡単エクササイズ講習会、生け花講習会、姿勢改善ヨガ講習会、骨盤底筋エクササイズ講習会、カラオケ講習会、成人講座、地域住民交流研修会	2023	623	—	852
		2022	609	—	811
		2021	615	—	746
事業③	会館まつり	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業④	教育相談・生活相談・健康相談・育児相談・その他相談	2023	—	—	33
		2022	—	—	33
		2021	—	—	32

施設に関する課題等（ハード面から）

施設所管課・本庁所管課　記入欄

課題

昭和40年に開館（平成4年に増築）以来50年以上が経過し、施設や設備の老朽化が目立つ。

対応策

施設の老朽化のため、修繕を必要とする部分が増えてきている。利用者は高齢者が多いため、利用者に配慮した改修が必要。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

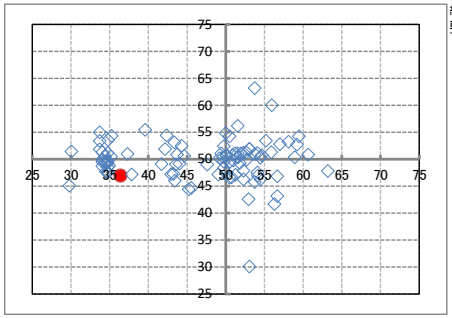
民活導入

—

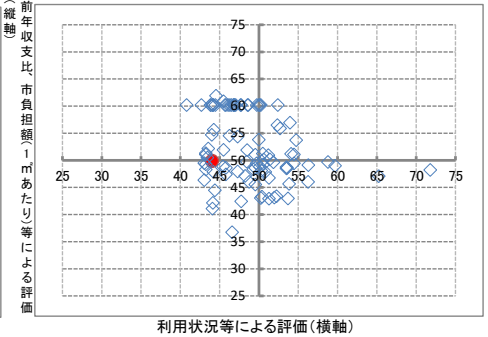
参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	12,563	12,918	13,973	1人当たりのコスト（円）	2,030	2,196	2,978
施設利用率（%）	5.8	5.8	6.3	1開館日当たりのコスト（円）	20,502	21,149	23,254
1日当たり利用者（人）	10	10	8	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	—	—
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考　公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋

利用者の圏域毎の方向性

他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

当面適切な維持管理に努める。

施設カルテ　2024

リストNo	03-078	施設コード	01410
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	城北会館		
所在(町名・番地)	中央区文丘町1-1		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課 本庁	健康福祉部福祉総務課	課長名	前嶋　卓志
所管課 施設	健康福祉部中央福祉事業所・社会福祉課	課長名	夏目　健一
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市福祉館条例		
設置目的	近隣住民の福祉の向上、交流の拠点となるコミュニティーセンターとして、地域住民のニーズに応えるべく、各種事業の開催や地域に開かれた施設として運営し、自ら学ぶ意欲に満ちた心豊かで心身共に健やかな人間育成に寄与する。		
主な利用者	近隣住民・各種講座利用者		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	9:00 ～ 21:30		

建物情報		土地情報		
総延床面積	529.88	土地面積		619.98
構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	うち所有面積		619.98
地上階数(主要建物)	2	うち借地面積		0.00
耐震性能(Is値)(主要建物)	1.17	代表地目(現況地目)		官公庁用地
耐震工事(主要建物)	－			
建築年月日(主要建物)	1978/12/1			
経過年数(主要建物)	45			
用途地域	第一種中高層住居専用地域			

区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費		—	—	—
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

特記事項：—

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	266	281	280
	国県支出金	4,843	4,843	4,630
	その他収入	2	18	10
	収入計(A)	5,111	5,142	4,920
支出(千円)	人件費	9,200	10,000	10,000
	物件費(委託料)	398	382	394
	維持補修費(修繕費)	401	153	196
	物件費(光熱水費)	737	790	1,111
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	10,736	11,325	11,701
行政コスト(B－A)		5,625	6,183	6,781
収支前年比		90.98	91.18	49.05
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,620	2,620	2,620
利用状況	利用コマ数/年	1,837	2,007	1,905
	利用可能コマ数/年	19,313	19,250	15,150
	施設利用者数/年	6,182	6,186	5,357
	開館日数/年	309	308	303
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—

BS情報

有形固定資産(千円)		
土地	建物	その他
45,707	1,192	—

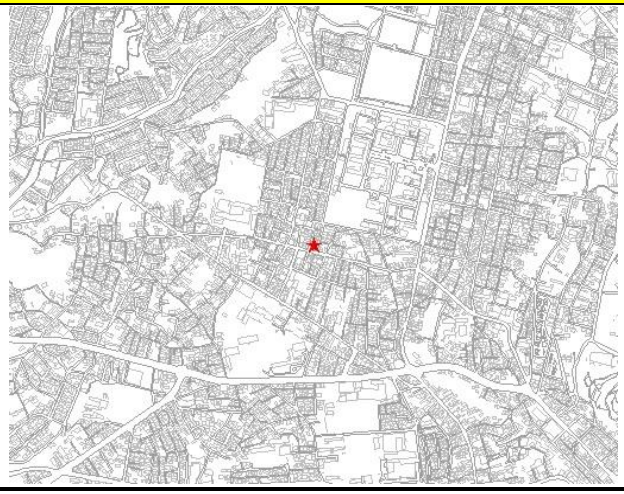
主な改修履歴

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	令和2年度　浜松市城北会館空調設備更新工事	8,129			

近隣施設

同分類 No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-081	文丘集会所	コミュニティ	0.1
03-025	西部協働センター	生活	0.8
03-021	和地山公園集会所	生活	0.8
03-006	勤労会館(Uホール)	地域	1.0
03-023	富塚協働センター	生活	1.0
03-072	馬生会館	コミュニティ	1.3
03-024	高台協働センター	生活	1.5
03-074	和合会館	コミュニティ	1.6
その他の分類 08-007	西保育園	生活	0.1
14-031	浜松第3分団	コミュニティ	0.4
15-108	北部中学校	生活	0.5
04-016	犀ヶ崖資料館	地域	0.5
15-006	追分小学校	生活	0.5
15-015	広沢小学校	生活	0.7
07-015	ひろさわ放課後児童会	生活	0.7
13-006	鹿谷(市立東)団地	地域	0.7

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-078	施設コード	01410	所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課
施設名	城北会館				施設	健康福祉部中央福祉事業所・社会福祉課
人員数	正規職員（人）	—	会計年度任用職員（人）	2	再任用（人）	1
複合施設	—					

施設運営分析

関連政策名：すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる地域福祉の推進

設置の妥当性

設置目的（再掲）

近隣住民の福祉の向上、交流の拠点となるコミュニティーセンターとして、地域住民のニーズに応えるべく、各種事業の開催や地域に開かれた施設として運営し、自ら学ぶ意欲に満ちた心豊かで心身共に健やかな人間育成に寄与する。

主な業務内容	相談業務・貸館業務・各種講習会・啓発広報・会館まつり
主な利用者	近隣住民・各種講座利用者

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者がある
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	少子高齢化に伴い需要は減少していくと考えられる
特記事項	—

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	各種事業（無料）122回・延1780人、各種事業（有料）631回・延4241人＜事業②～④分含む＞	2023	—	—	6,025
		2022	—	—	6,007
		2021	—	—	5,233
事業②	生花講習会、民謡講習会、七宝焼講習会、手芸・手編み講習会、ヨガ講習会、らくらく健康体操講習会、成人講座、地域住民交流研修会	2023	581	—	839
		2022	637	—	781
		2021	643	—	652
事業③	会館まつり	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業④	教育相談・生活相談・健康相談・育児相談・その他相談	2023	—	—	4
		2022	—	—	9
		2021	—	—	6

施設に関する課題等（ハード面から）

施設所管課・本庁所管課　記入欄

課題

昭和37年に開館（昭和53年に改築）以来50年以上が経過し、施設や設備の老朽化が目立つ。

対応策

施設の老朽化のため、修繕を必要とする部分が増えてきている。利用者は高齢者が多いため、利用者に配慮した改修が必要。

資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

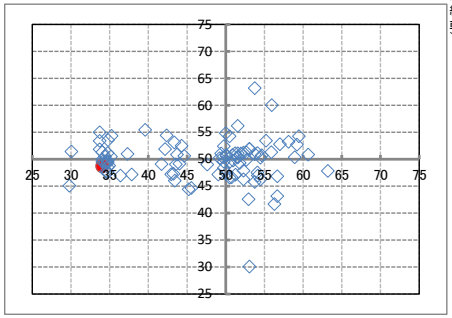
民活導入

—

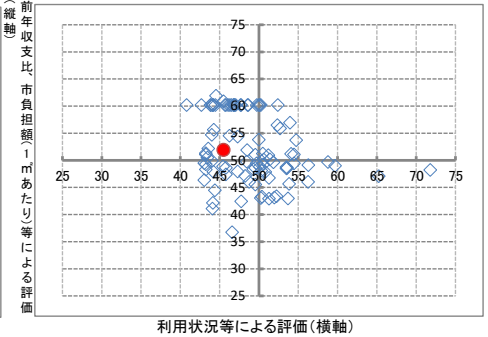
参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	10,616	11,669	12,797	1人当たりのコスト（円）	910	1,000	1,266
施設利用率（%）	9.5	10.4	12.6	1開館日当たりのコスト（円）	18,204	20,075	22,380
1日当たり利用者（人）	20	20	18	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	—	—
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価（縦軸）



供給評価(横軸)／財務評価（縦軸）



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考（公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋）

利用者の圏域毎の方向性

他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	（1）維持管理	—	（2）改修・更新時	—	（3）その他	—

当面適切な維持管理に努める。

施設カルテ　2024

リストNo	03-079	施設コード	02627		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	北星会館				
所在(町名・番地)	中央区花川町1977				
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課 本庁	健康福祉部福祉総務課	課長名	前嶋　卓志		
所管課 施設	健康福祉部中央福祉事業所・社会福祉課	課長名	夏目　健一		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市福祉館条例				
設置目的	近隣住民の福祉の向上、交流の拠点となるコミュニティーセンターとして、地域住民のニーズに応えるべく、各種事業の開催や地域に開かれた施設として運営し、自ら学ぶ意欲に満ちた心豊かで心身共に健やかな人間育成に寄与する。				
主な利用者	近隣住民・各種講座利用者				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00 ～ 21:30				
建物情報 総延床面積	462.03	土地情報 土地面積	2,198.52		
建物情報 構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造				
建物情報 地上階数(主要建物)	2	うち所有面積	2,198.52		
建物情報 耐震性能(Is値)(主要建物)	1.54				
建物情報 耐震工事(主要建物)	－	うち借地面積	0.00		
建物情報 建築年月日(主要建物)	1979/3/1				
建物情報 経過年数(主要建物)	45	代表地目(現況地目)	官公庁用地		
用途地域	市街化調整区域				

区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	—	—	—
財源 国・県	—	—	—
財源 寄付金	—	—	—
財源 その他	—	—	—
財源 市債	—	—	—
財源 一般財源	—	—	—

特記事項 —

項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	104	118	82
収入(千円)	国県支出金	4,843	4,843	4,327
収入(千円)	その他収入	3	3	5
収入(千円)	収入計(A)	4,950	4,964	4,414
支出(千円)	人件費	9,200	9,200	7,200
支出(千円)	物件費(委託料)	435	419	497
支出(千円)	維持補修費(修繕費)	707	3,732	1,324
支出(千円)	物件費(光熱水費)	498	608	815
支出(千円)	物件費(借地料)	0	0	0
支出(千円)	支出計(B)	10,840	13,959	9,836
行政コスト(B－A)		5,890	8,995	5,422
収支前年比		65.48	165.90	182.50
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,503	2,503	2,503
利用状況	利用コマ数/年	768	756	817
利用状況	利用可能コマ数/年	15,450	15,400	15,150
利用状況	施設利用者数/年	3,247	3,333	2,739
利用状況	開館日数/年	309	308	303
利用状況	施設定員数	—	—	—
利用状況	図書貸出冊数/年	—	—	—
利用状況	蔵書数	—	—	—
利用状況	入居戸数	—	—	—
利用状況	全戸数	—	—	—
利用状況	クラス数	—	—	—
利用状況	生徒数	—	—	—

BS情報 有形固定資産(千円)

土地	建物	その他
43,087	1,138	—

主な改修履歴

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設

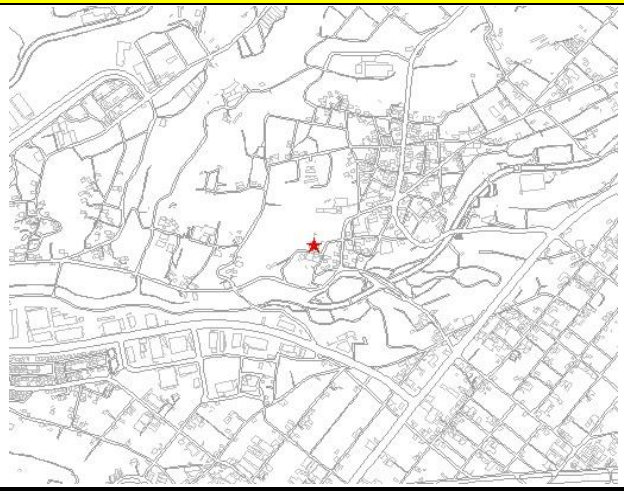
同分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-088	湖東会館	コミュニティ	1.7
03-040	和地協働センター	生活	1.9

その他の分類

No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-012	北星児童館	生活	0.0
15-001	花川小学校	生活	0.1
08-024	花川幼稚園	生活	0.2
14-040	浜松第28分団	コミュニティ	0.2
13-019	花川団地改良住宅	地域	0.3
05-005	花川運動公園庭球場	市域	0.6
08-001	花川保育園	生活	1.3
05-008	北部水泳場	地域	1.5

施設周辺地図情報



施設カルテ　2024

基本情報

リストNo	03-079	施設コード	02627	所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課
施設名	北星会館				施設	健康福祉部中央福祉事業所・社会福祉課
人員数	正規職員（人）	—	会計年度任用職員（人）	2	再任用（人）	1
複合施設	北星児童館					

施設運営分析

関連政策名：すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる地域福祉の推進

設置の妥当性

設置目的（再掲）

近隣住民の福祉の向上、交流の拠点となるコミュニティーセンターとして、地域住民のニーズに応えるべく、各種事業の開催や地域に開かれた施設として運営し、自ら学ぶ意欲に満ちた心豊かで心身共に健やかな人間育成に寄与する。

主な業務内容	相談業務・貸館業務・各種講習会・啓発広報・会館まつり
主な利用者	近隣住民・各種講座利用者

設置目的の継続性・妥当性

設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者がある
中長期（今後10年程度）のニーズ予測	少子高齢化に伴い需要は減少していくと考えられる
特記事項	—

主な事業

	事業名・開催回数（2023）	年度	事業費（千円）	実施状況 のべ募集人員	実施状況 参加者数
事業①	各種事業（無料）139回・延1521人、各種事業（有料）225回・延1443人＜事業②～④分含む＞	2023	—	—	2,964
		2022	—	—	3,016
		2021	—	—	2,749
事業②	ストレッチ体操講習会・骨盤調整講習会・健康吹き矢講習会・竜扇講習会・キルト手芸講習会・ゆったりエクササイズ講習会・生け花講習会、折り紙講座、簡単ギター・大正琴講座、フラワーアレジメント講座、ペーパーフラワー講座	2023	613	—	971
		2022	602	—	958
		2021	699	—	958
事業③	会館まつり	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—
事業④	教育相談・生活相談・健康相談・育児相談・その他相談	2023	—	—	—
		2022	—	—	—
		2021	—	—	—

施設に関する課題等（ハード面から）

課題：昭和39年に開館（昭和54年に改築）以来50年以上が経過し、施設や設備の老朽化が目立つ。

対応策：施設の老朽化のため、修繕を必要とする部分が増えてきている。利用者は高齢者が多いため、利用者に配慮した改修が必要。

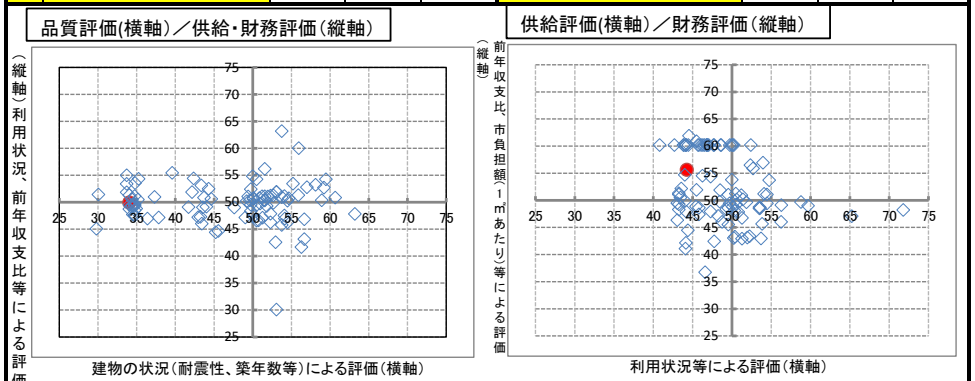
資産の見直し

方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄
廃止	—	—	—	—
民間移管	—	—	—	—
管理主体変更	—	—	—	—
代替サービス	—	—	—	—
統廃合	—	—	—	—
複合化	—	—	—	—
広域化	—	—	—	—

民活導入：—

参考指標

項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
行政コスト/面積（円）	12,748	19,468	11,735	1人当たりのコスト（円）	1,814	2,699	1,980
施設利用率（%）	5.0	4.9	5.4	1開館日当たりのコスト（円）	19,061	29,205	17,894
1日当たり利用者（人）	11	11	9	1定員当たりのコスト（円）	—	—	—
図書貸出率（%）	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト（円）	—	—	—
入居率（%）	—	—	—	1戸当たりのコスト（円）	—	—	—



※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考（公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋）

利用者の圏域毎の方向性：他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性：今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

当面適切な維持管理に努める。